



十三草

七冊
家藏



抄書と

白紙に書く

筆の法

書

風をた

しるべき

は

書

十四
十
七

頭書増補訓蒙圖彙卷之四

人物

けの部士の農工商そののり異朝の
一といふ人衆とわける也

○公の三公あり
太政大臣左大臣
右大臣と三公と云
唐名曰大師大傅
大保と云



公

○卿の公卿あり
大納言中納言
三進以上と云
と云又八卿と
て天子に侍る
多ふ人の名



卿

○士の学文して位
にわつと字士と云
剣と兼一甲冑
と云とらと武士
といふもの也



士

○嬰兒人始てい
る前と嬰兒といふ
と云と嬰兒といふ
乳養を故に嬰兒
といふ又女を嬰と
男を兒と云也



嬰

○女のいほふは嫁
せうと女といふを
てに嫁しつゝを
婦といふ嫁
も父母いんで女
といふ

○童の男十五以
下と童子といふ
童の獨りの言ひ
いまこ室家わ
ふつと鬘子絶
角と此童子のま

○翁の長老は翁
あり又人の父と
稱して翁といふ
豊同

農
○農ハ厲山氏の子
と農と名づく百
穀とゆつと能
とつと物つと
り農人といふ
耕農五穀とゆ
りとかゆつと
農とかづくせ

商
○商ハ行て販と
高といふ坐あ
賣と買といふ
高賈通用と
商いあまると高
とくへ

女
いほふ



童
うら



翁
おきな



農
のう



商
あまると



○婆の媪はあひ
に同じとらわけ
うといの穩婆とも
早婆ともいふ

○兵の武器の
名あり今甲冑
と稱する武士を
兵といふあり也
戎同

○工の百工といふ
ろくろさくはん
の惣名あり工
ともいふ木工大
工と漆工の塗師

醫
○醫ハ病と治
ふとい酒とゆ
薬と製する酒
の家にくしあり
和名いかに和名
和名といふ医家
俗人あり

鍛
○鍛ハ磨と推鍊
と金と治とる
鉄と鍛あり
鍛治とまはる
ぐんにいしり
あまるとら
とくへ

婆
おきな



兵
へい



工
こう



醫
い



鍛
か



○樂ハ八音ノ爲
帝ノ時伶倫
ノノ樂ヲ
ト伶人トモ
ト伶人トモ



○侏儒ハ
短人トモ
短人トモ
短人トモ



○巧者ハ
今ノ
巧者ハ
巧者ハ



○硯ハ
黃帝王
硯ハ
硯ハ



○織匠ハ
今ノ
織匠ハ
織匠ハ



○補匠ハ
今ノ
補匠ハ
補匠ハ



○娼婦ハ
倡優
娼婦ハ
娼婦ハ



○陶家ハ
土匠
陶家ハ
陶家ハ



○漆匠ハ
今ノ
漆匠ハ
漆匠ハ



○筆匠ハ
今ノ
筆匠ハ
筆匠ハ



○機女ハ
今ノ
機女ハ
機女ハ



○敗婦のれき
いそろ女へ賈婆
とていそ

○蠶婦ハ蠶より
いそろとていそり女
ありひり親子
ありひり女をて
蠶の糸木に
より綿とてたて
親とやいひる
いそろとていそり

○銀匠ハ白く糸
いそろとていそり
業匙目貫刀
のいそり今
の後教をいそり

○玉人ハ玉と琢
磨するものあり
いそろいづかあ
玉といふ海より
いそろとていそり
○當世うれい
遊みより畫
外とていそり
かといふ夜
とていそり

○石工ハ石を切
る垣をいそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり

○石工ハ石を切
る垣をいそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり



敗婦



蠶婦

銀匠



玉人



遊女



補

石工



○弓人ハ弓削
あり引ハ危儀氏
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり

○画工ハ繪師
今の将野家
ありとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり

○染匠ハ染
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり

○皮匠ハ今
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり
いそろとていそり



傘工



畫工



染匠



皮匠



○漁人の後身は
川のほとり
ていふこと
りあり

熊夫

○熊夫の薪と
るのあり又い
賤と云ふ

○腕丈の腕は
いふ今科理
人あり虎下とい
人より牛と解今
その各とらて刀
ぬきと又腕丈
の名とて虎下
くといふ

○漁父のそと
その色のと人
我の世も天下に
水がかりと
にかつゆに漁と
りあり

○贅者ハ目あり
この目あり
儉校の常四分
打掛城方都万
かしては階あり
倫語も冕者も
者といふといふ
○釣叟ハわのそ
ふかきねあり太
公望蔵子陵と
いふあり



○舟子の今いふ
船頭あり海と
舟と舟と又雲と
とと棹子とも云

○獵師の弓鉄
炮とらるる獸と
らるるのん慮義
の世も天下に獸
多し故に人子獵
とらるるのん慮
田とともいふと
に冬獵とらるる
聖人といふと

○屠者の牛馬
の肉ハ屠割の
あり今いふ穢多
あり又屠兒とも

○蟹の海に入
蛇貝とらるるの
あり一生和中と
居所と

○強背のせい
医書に云ふ龜背
とらるる背あり
死ると索駝と云
死るといふ人
せいの人と死
背とらるる

○兎唇の缺唇と
いふ兎缺と云ふ
兎缺ハ赤子の附
とらるるの外科小
切とらるるの成
とらるるの



○乞兒の乞巧人
あり又乞食とも
いふものゝいふ
非人といふ人
非人の乞食
非人の乞食

廣僧

廣僧の梵論とも
いふ梵論漢字
といふ又暮露と
いふ又八と
結ぶと修行を
駕輿丁のり
酒と瀝散多と
瀝散といふと
まで大なる男も
こゝろも男も瀝散



乞兒

補



駕輿丁

補



歌工

補



櫛引

補



鏡造

補



鏡造の糸作代
天籟戸の糸作
天籟太作の糸
糸造り
糸造り
糸造り

○牧童の野に
牛を牧する童
あり牧童遠指
杏花村と詩に
とつとれり牛
りこあり

相撲使

相撲乃見宿稱と
振速といふの
とつとれり角抵
と贅力といふ
浪人といふ領
いふれて流浪を
ふ人といふ穿
穿のありあり



相撲使

補



浪人

補



烏帽子折

補



傀儡師

補



伯樂

伯樂の馬を
りふ人をして
りふ人をして
りふ人をして
りふ人をして
りふ人をして



馬借の馬又と

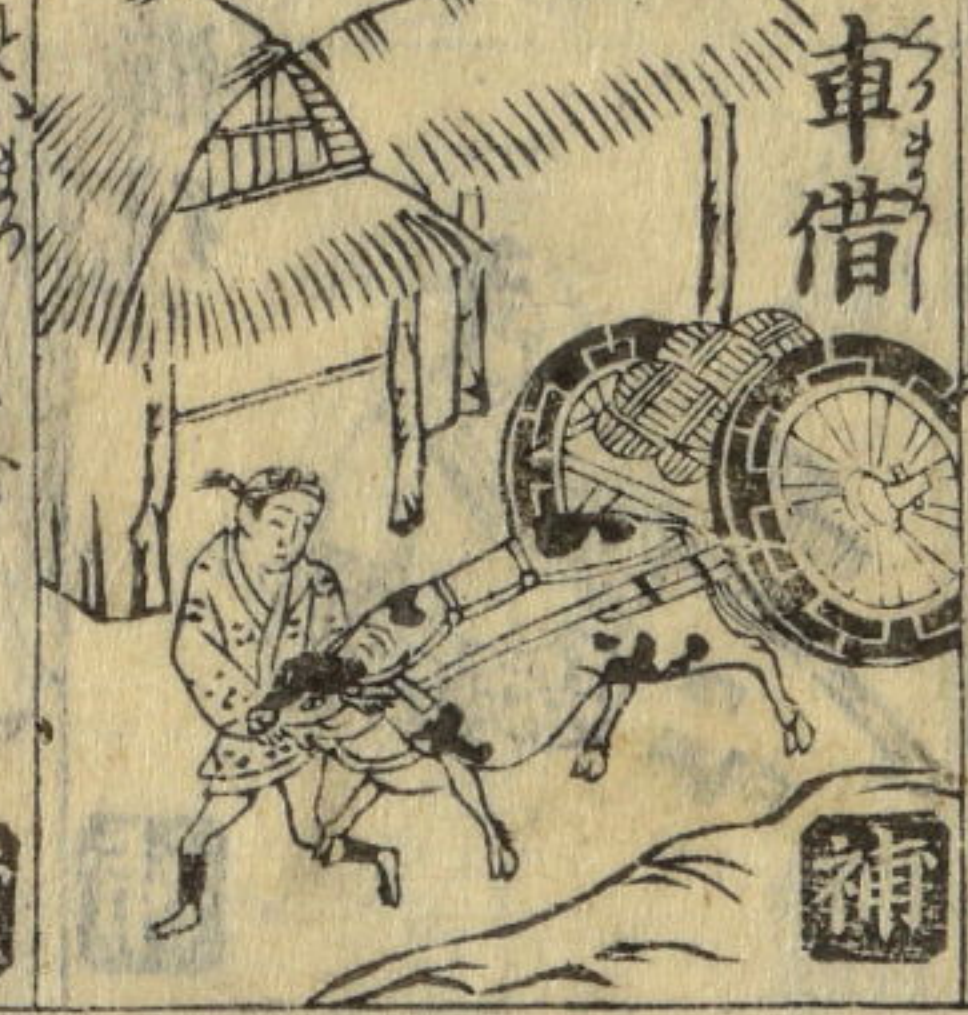
大津坂の馬借
と引く馬今
引く馬今
引く馬今

車借

車借の馬白川
引く馬今
引く馬今
引く馬今

問九
問九の今
問九の今
問九の今

馬借の馬



○南蛮の阿蘭陀

西のあひまを西
戎といふ

○中国の漢

唐ともいふ
ひまの今

○暹羅の海

甘波非といふ
はよの深



大京黒本

京小山大京の女
侍年給がらへて
おのの愛

土器師
土器師の
土器師の

針磨
針磨の
針磨の

○東夷の蝦夷

人ありは
食とも

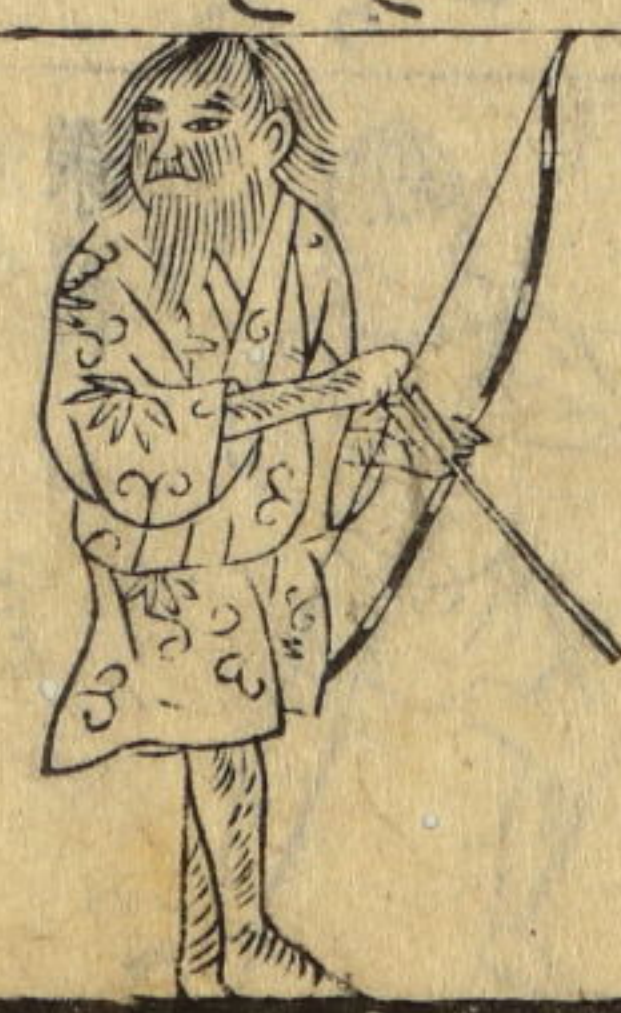
○朝鮮の

麗ともいふ
新羅百濟

○蒙古の

蒙古の
蒙古の

大京黒本



○蕭慎の女真

女真の女は、髪を長く束ねて、皮の衣を着る。その容姿、異國の風情を醸し出す。また、その文化や習俗についても記述されている。

○琉球の中山国

琉球の中山国は、南島の諸島に位置する。その風土人情や物産について詳しく説明されている。また、琉球の歴史や政治体制についても触れている。

○天竺の度

天竺の度（天竺）は、南アジアの地域を指す。その文化、宗教、物産について詳しく説明されている。また、天竺の歴史や政治体制についても触れている。

○崑崙の西南

崑崙の西南は、中央アジアの地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。また、崑崙の歴史や政治体制についても触れている。

○白城の安南

白城の安南は、東南アジアの地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。また、白城の歴史や政治体制についても触れている。

○小人の東

小人の東は、東部の地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。また、小人の歴史や政治体制についても触れている。

○九寸の長

九寸の長は、長脚の地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。また、九寸の歴史や政治体制についても触れている。

蕭慎の女真



琉球



天竺



崑崙



白城



小人



○呂宋の海

呂宋の海は、東南アジアの海域を指す。その貿易や文化について詳しく説明されている。

○安南の交趾

安南の交趾は、東南アジアの地域を指す。その文化や物産について詳しく説明されている。

○東番の肉桂

東番の肉桂は、東南アジアの地域を指す。その物産や貿易について詳しく説明されている。

○長臂の海

長臂の海は、長脚の地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。

○無臂の国

無臂の国は、長脚の地域を指す。その文化や物産について詳しく説明されている。

○長脚の足

長脚の足は、長脚の地域を指す。その風土人情や物産について詳しく説明されている。

呂宋



安南



東番



長臂



長脚



長人



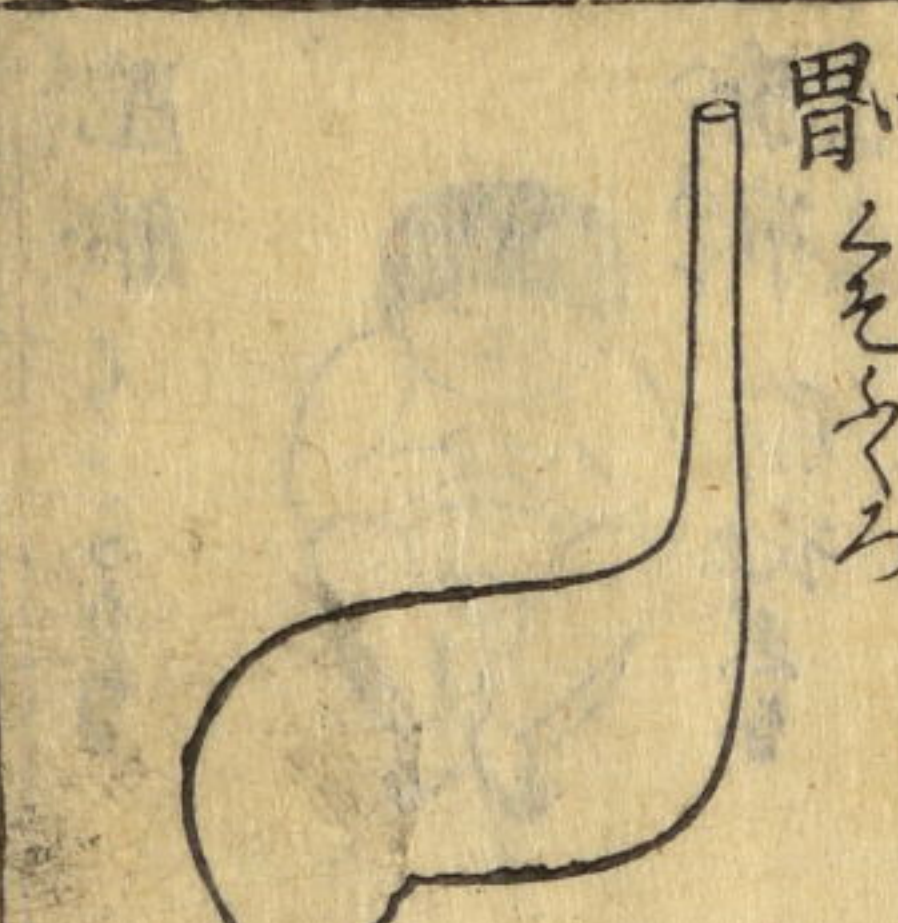
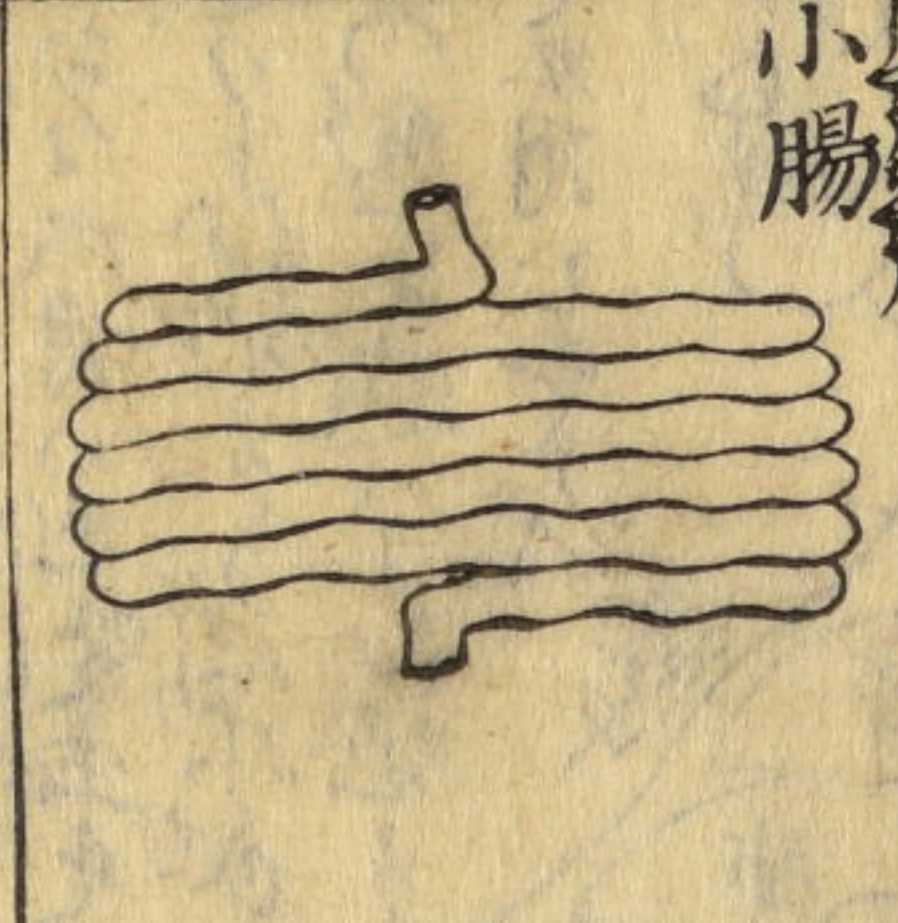
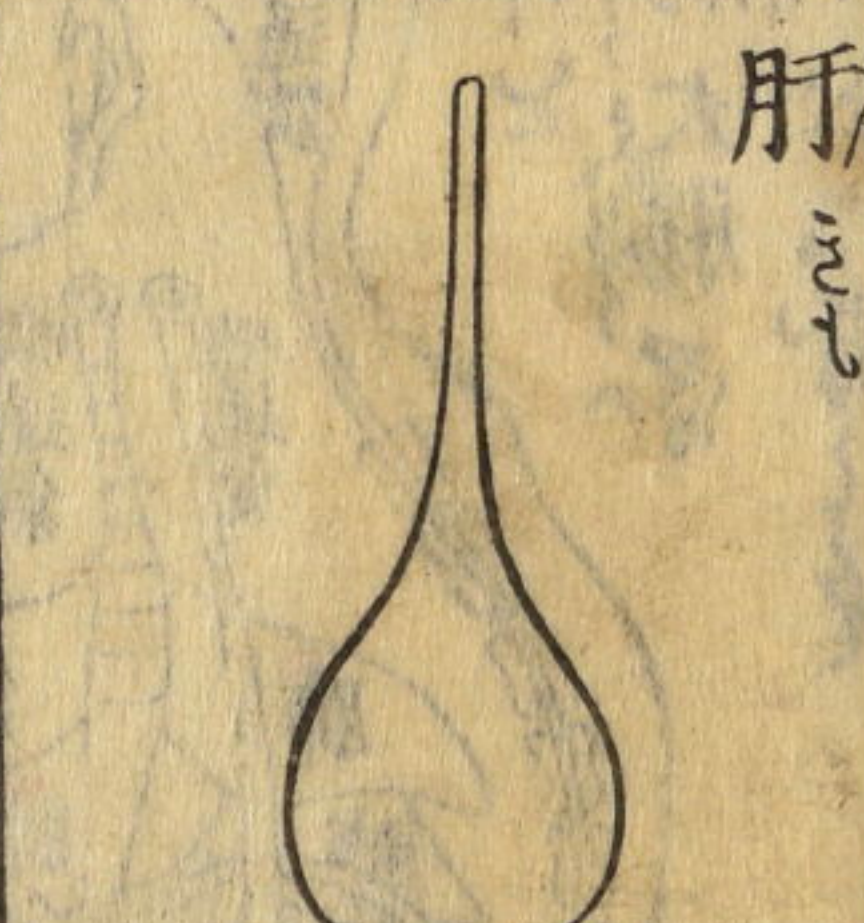
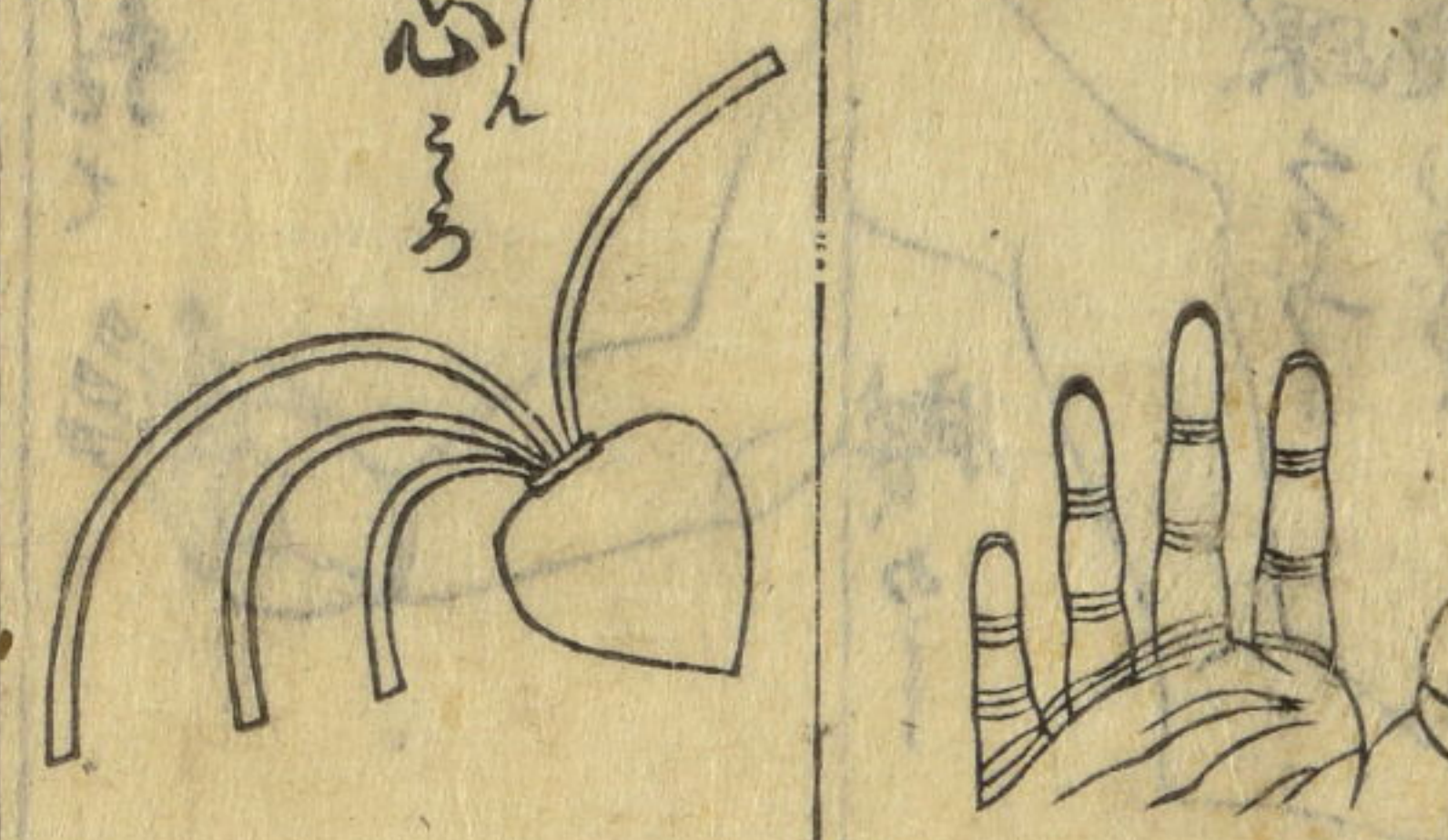
指ゆひ
大指かかゆひ揃同
食指ひとよゆひ
中指たけさゆひ
無名指べつゆひ又
小指とゆひ又
季指さしゆひ

心五臓のころん
して一糸のよん
胸の二ありあり
わくしありあり
脾いありあり
脾いありあり
土ありありありあり
ありありありあり
辰の中腹ありあり

肝い五臓のころん
をの肺ありあり木
ありありありあり
七葉ありありあり
ろろろろろろろろ

小腸い心乃後乃
小腸い心乃後乃
府ありありありあり
小後と重なりあり
て膀胱よりいづ

胃い八脾の屋乃
府あり食物と
脾よりつてて
大腸よりろろろ
ろろろろろ



教いれと屈えん
はよりこがへん

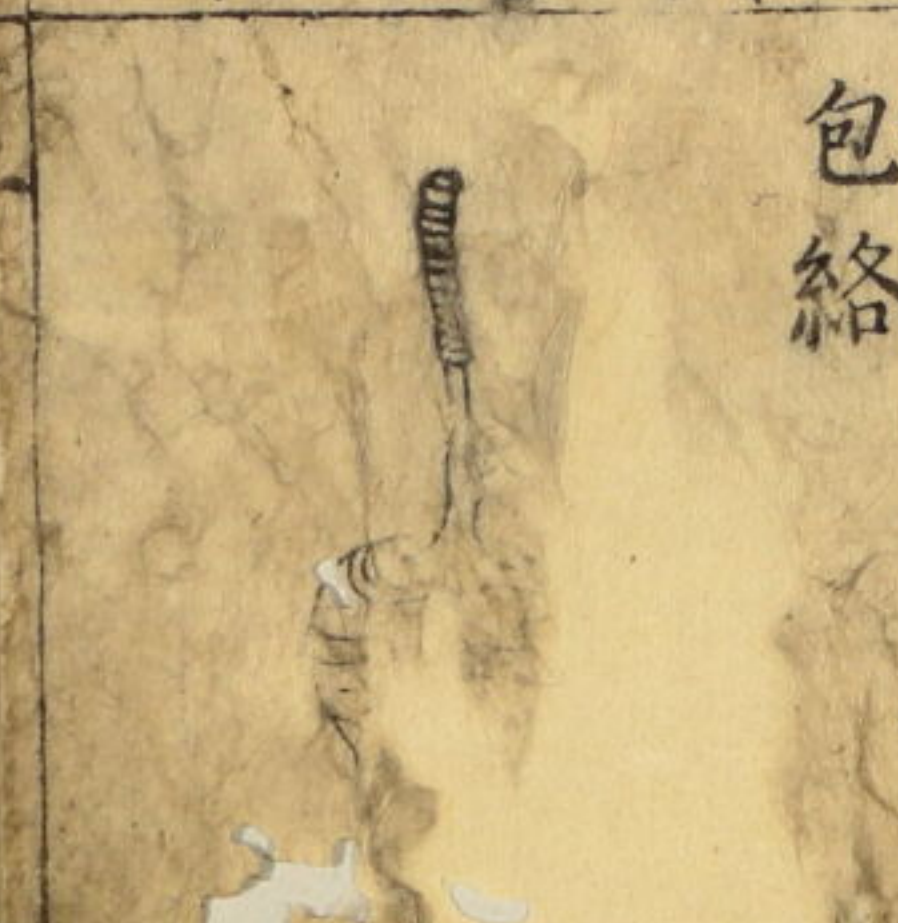
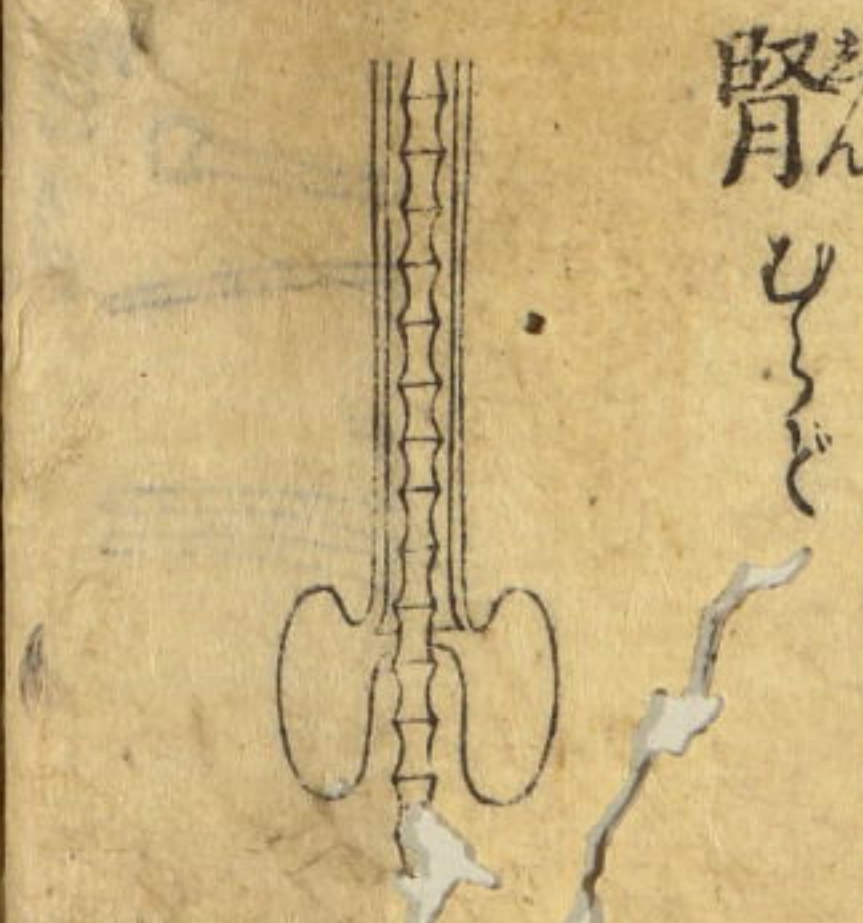
肺い五臓のころん
胸の間にあり連
絡とつひけら
ろろろろろろろろ

腎い五臓のころん
腰より水あり
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ

膽い肝の下の麻
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ

大腸い肺の下の麻
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ

包絡い心包絡の余り
心包絡の余り
ろろろろろろろろ
ろろろろろろろろ



胎胎 とうり

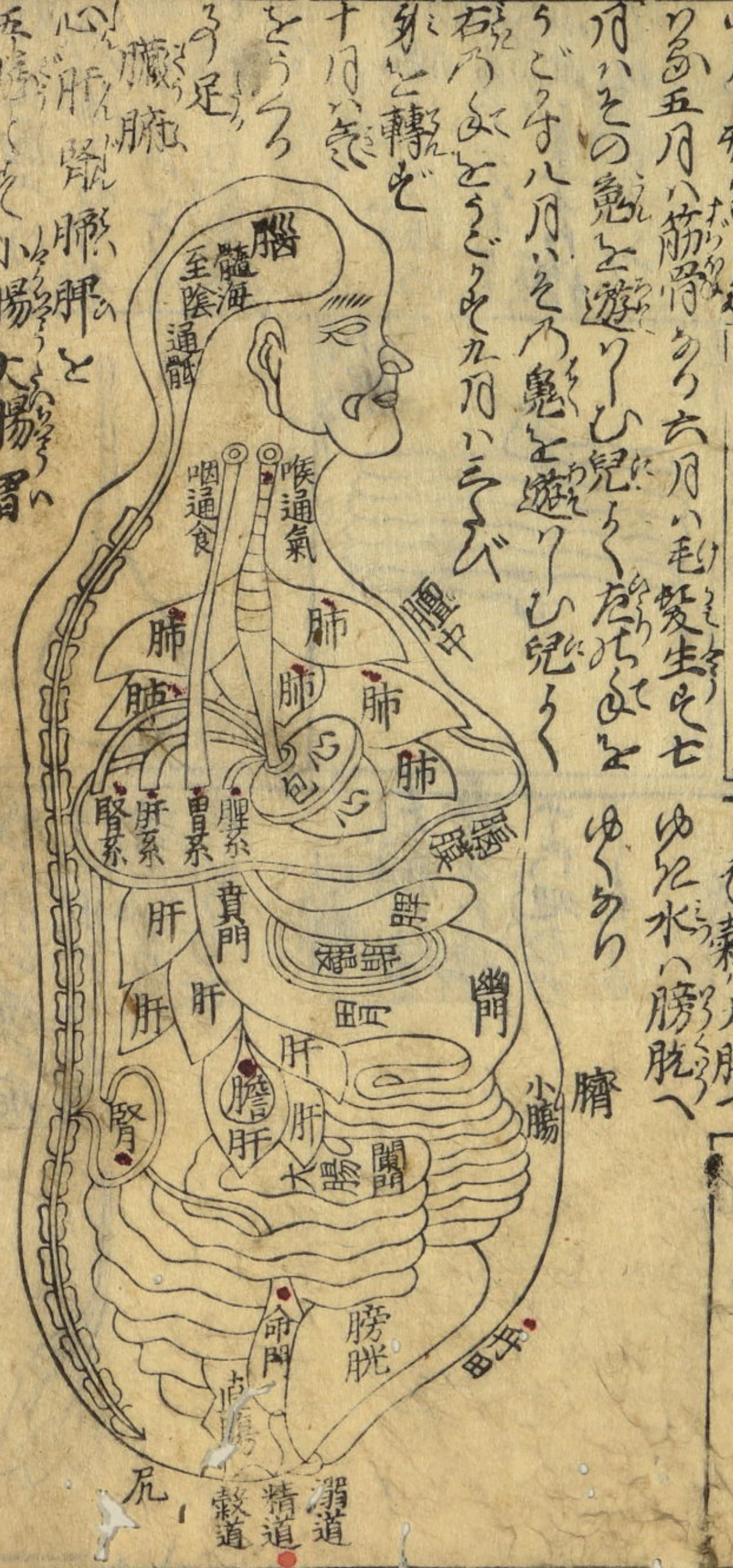
胎胎 とうり

五臟論 白一月
珠露のとき二
月、桃花のとき
三月、小児のとき
四月、飛象のとき
五月、筋骨のとき
六月、毛髮生のとき
七月、その鬼を遊りし
八月、その鬼を遊りし
九月、その鬼を遊りし
十月、その鬼を遊りし



膀胱の腎の氣の
病あり小児の
るあり水分の充
あく水穀の利
し穀大腸へ
ゆりあり

膀胱 とうり



頭書增補刻家圖彙卷之六

衣服

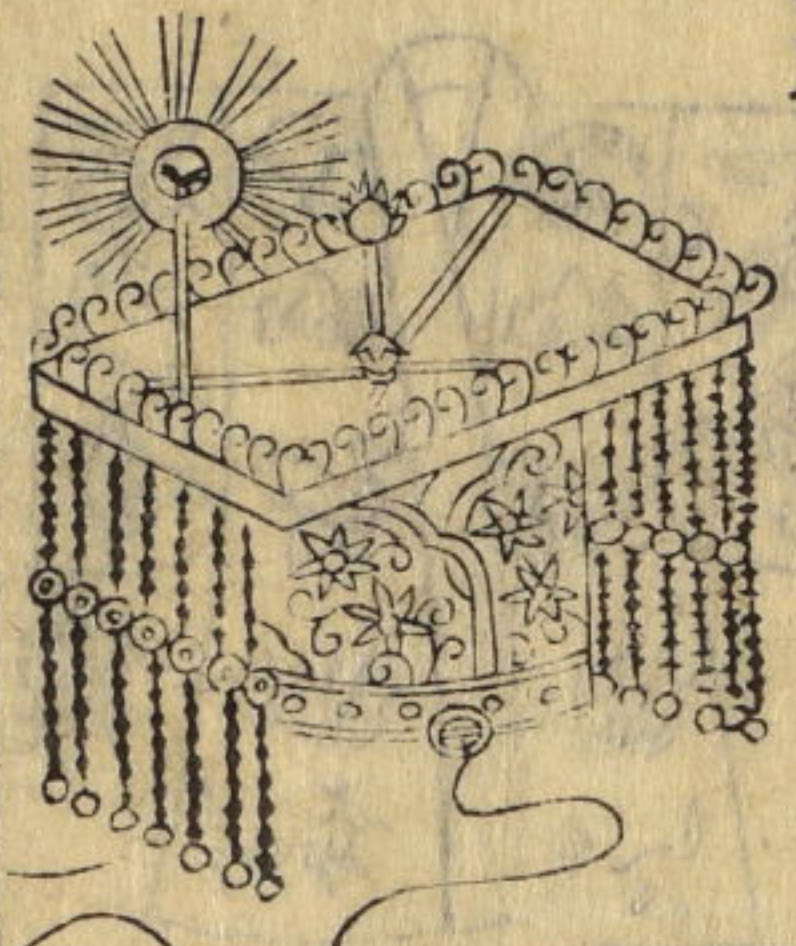
け部い衣裳冠帯まへく
る物のころいあわ

冠の天子の冠
あり十二統あり
おにのれろ和
えまうたあ旁に
黄纁のふもを
護衣とすまへ

冠の天子の冠

冠の天子の冠
て紵の髪とあふ
めと巾子と云
しるに立る物
と羅とあつたぬ
そのと巾子の文
簪とすいふ

和冠



冠の天子の冠
て紵の髪とあふ
めと巾子と云
しるに立る物
と羅とあつたぬ
そのと巾子の文
簪とすいふ



唐冠

唐冠

纓

冠の貫の後と貫
はひのりと釋名
にころ冠首に
あゆをよみ法
制をゆすに必

冠の天子の冠



冠の天子の冠
て紵の髪とあふ
めと巾子と云
しるに立る物
と羅とあつたぬ
そのと巾子の文
簪とすいふ



○中頭巾
その製法は...

○衾天子の所
衾一匹は...

○衾天子の所
衾一匹は...

○衾天子の所
衾一匹は...

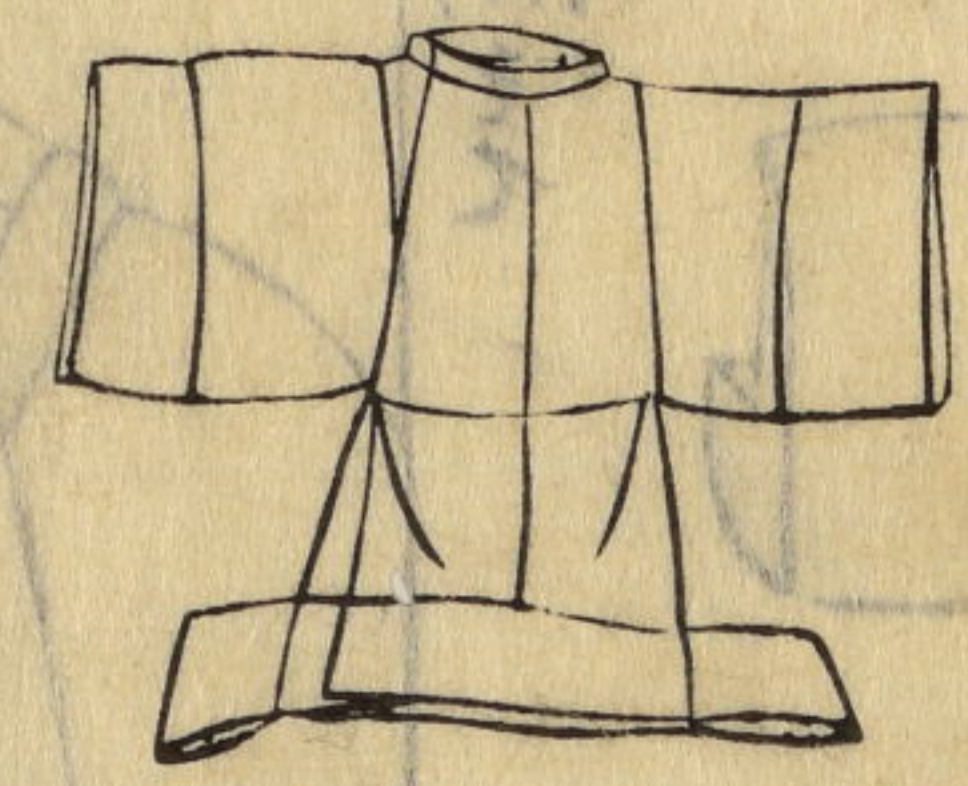
○中頭巾



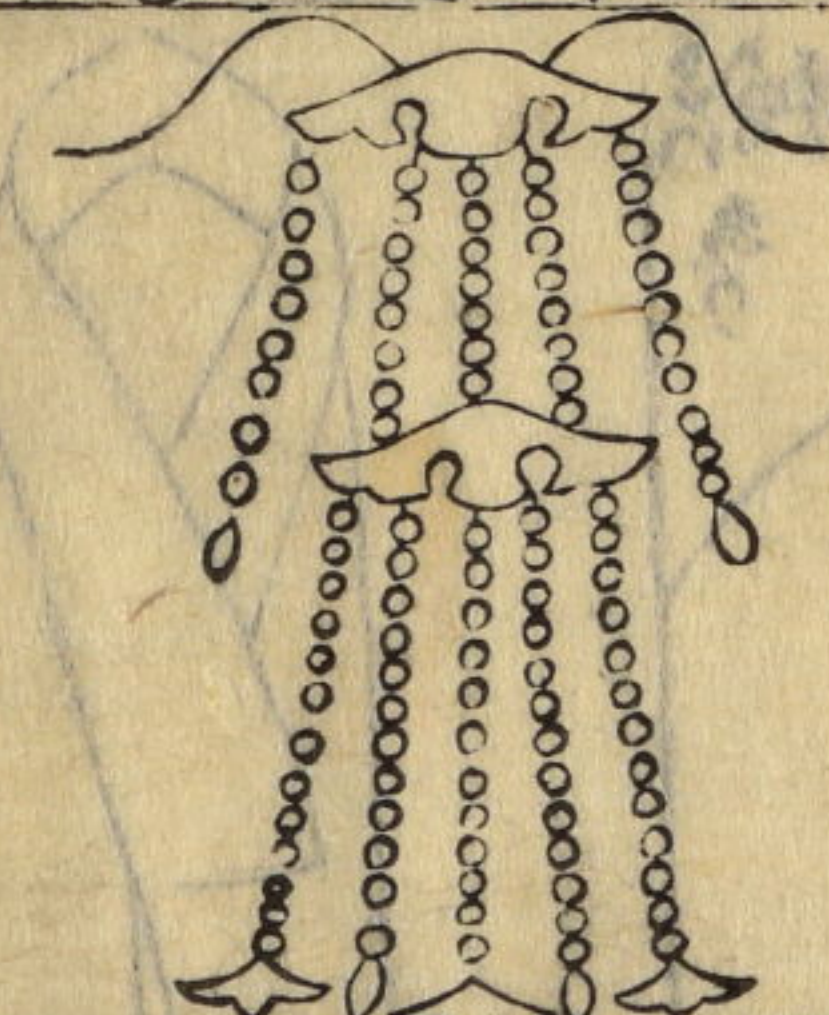
○帽子



○袍



○珮



○綾

○綾の四方耳を
かひふとの冠の
ひやりの領の下
にしろくもろん

○僕

○僕ハ周の武帝
乃つりてはくま
唐人のつりあり
幅巾を裁して
四脚と云ふ

○帽

○帽ハ頭を覆
に上宿あり下
友にのりて帽
と云ふ冠は侍に
と云ふ

○裳

○裳ハ上と云ふ
袴と裳との裳の
紋のう藻移米
輔散あり九章の
心あり天子所衣
の裳あり

○袷

○袷ハ小襦あり
ふたあり袖端の
きと袷衣との文
縹紗布袷偏袷
あり類あり
服乃下あり

○綾



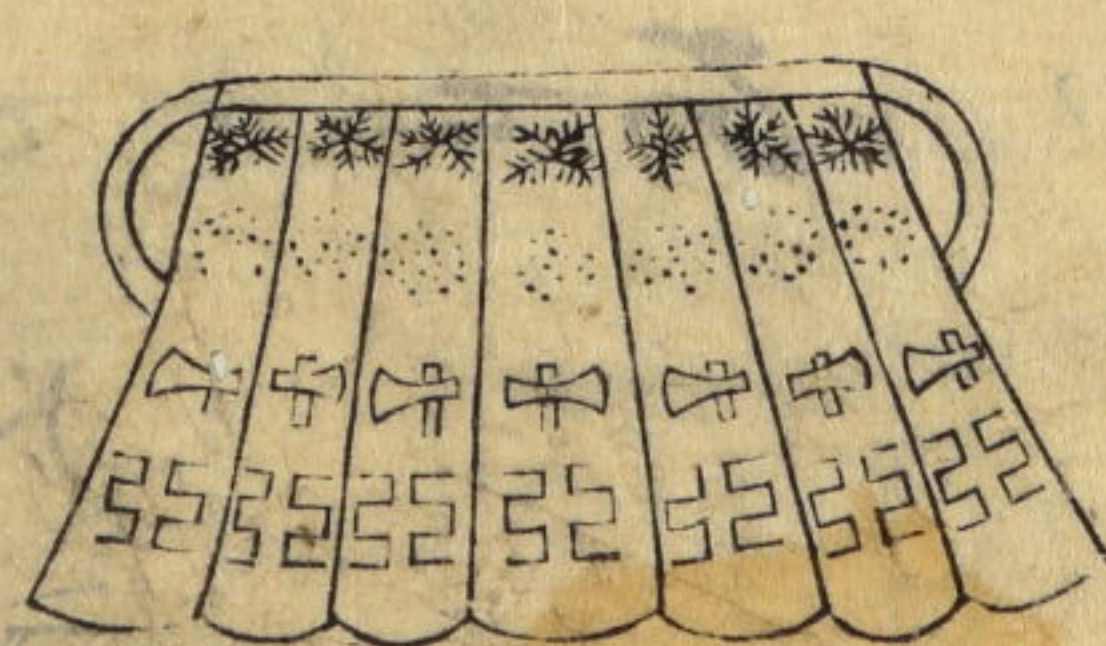
○僕



○帽



○裳



○袷



襟えりの紐ひもの結むすみ
 まうりる糸いとの心こゝろの結むすみ
 いちごうしん外ぐわい襟えりの
 ひもひものひもひも

衿えりのこらもねらぶ
 衿えりの領りやうとよあ
 綱領あづな要領えいりやうとよ
 と領りやうの衣いのあり
 くひのよにとも

袖そでの衣いの袂たもとあり
 長袖ながそでのしりぞて
 袂たもといとてくら

靴くつの革かわのふ
 むの履はきこれと
 く衣いの靴くつ李白らいてい
 が履はき上の靴くつとれ
 日本にっぽんはく靴くつの
 靴くつのしん官くわん人にん備び
 むこれ靴くつの異いへ

履はきの木履ぎわあり
 履はきのあしこし
 こかき履はき系けいと
 りん又また鼻はな繩なはとよ
 又また揮ひといふあり
 雪ゆき中なかにとも物もの

襟えりの紐ひも



衿えりのあり



袖そでのあり



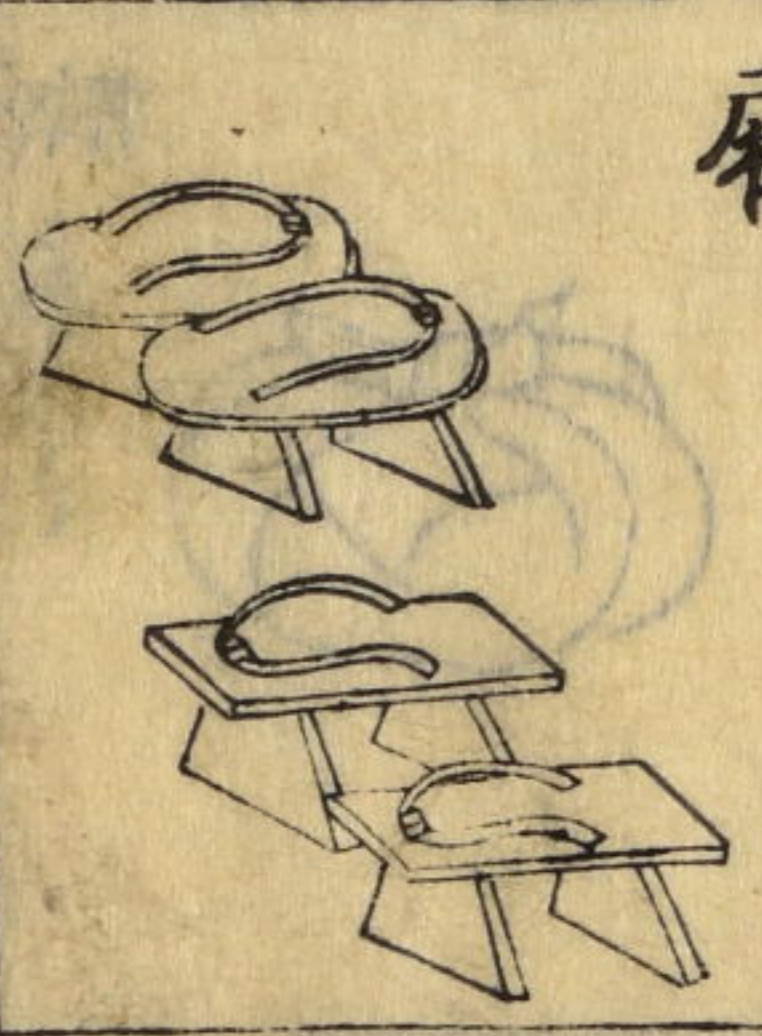
靴くつのあり



鞋かぶのあり

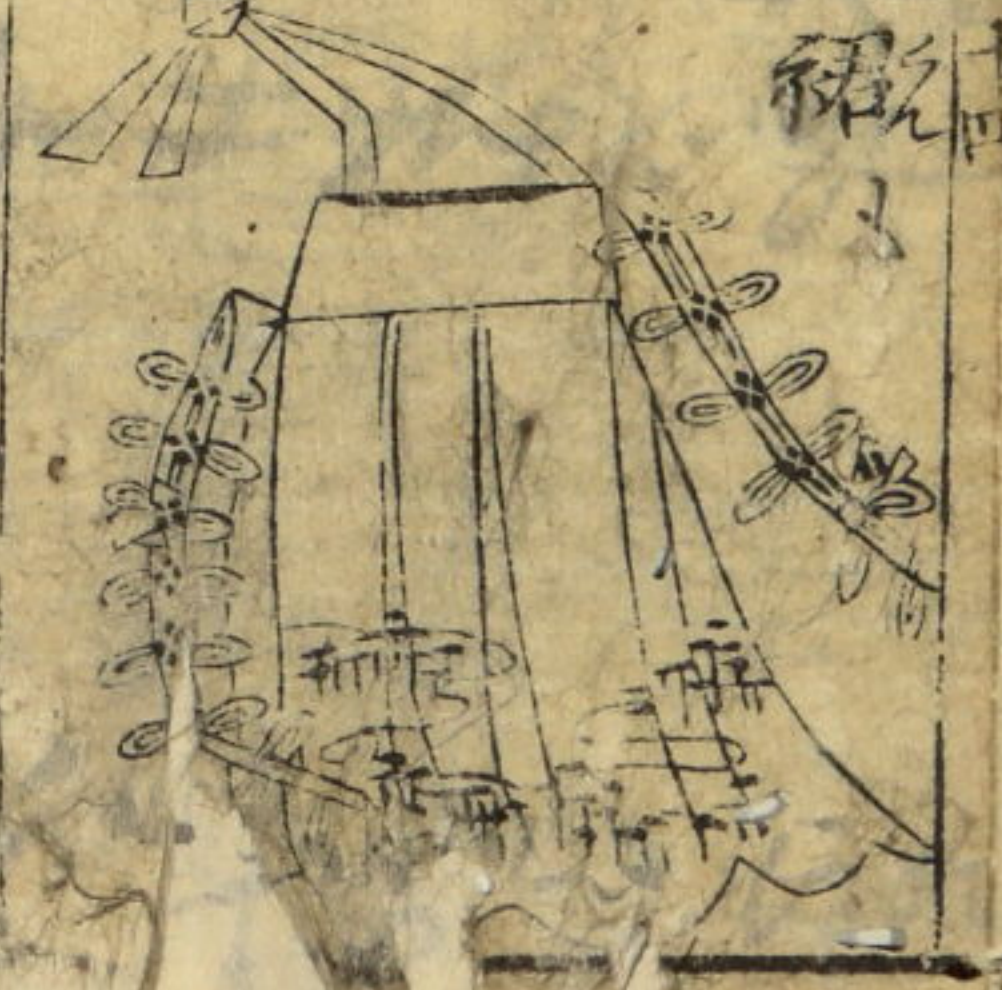


履はきのあり



襪わのあり

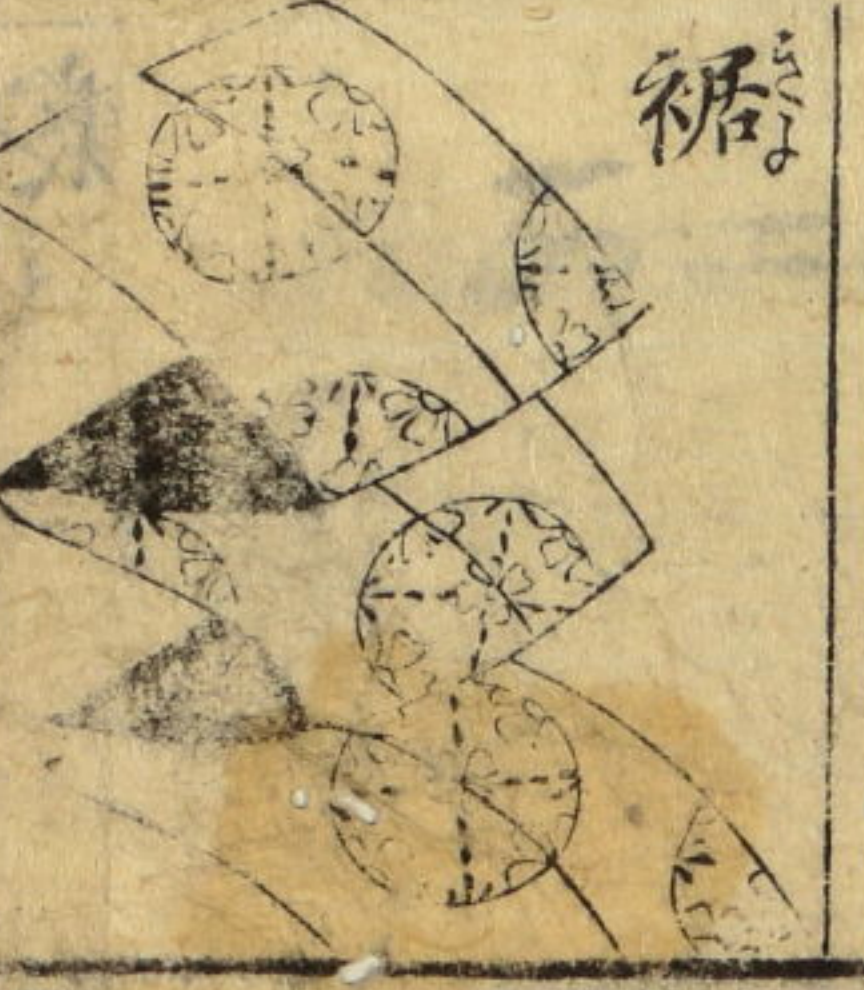
襪わの婦人にょにんの履はき
 はく裳ものあり
 襪わにつくあり
 裳もにもわく襪わ
 ゆへに襪わとよ



帯おビの字じのあり
 帯おビとつあり
 帯おビのあり
 帯おビのあり
 帯おビのあり



袴はかまの衣いのあり
 袴はかまのあり
 袴はかまのあり
 袴はかまのあり



被ひのあり

被ひの寝ねのあり
 被ひのあり
 被ひのあり
 被ひのあり



被ひのあり

被ひのあり
 被ひのあり
 被ひのあり



鞆たもとのあり

鞆たもとのあり
 鞆たもとのあり
 鞆たもとのあり



帕 二もつて

○帷の紅縮緬はく
額と抹とのり
ゆり帯はく
帷は包紙並同

帷 二のり

○帷の紅縮緬はく
額中ととのり
ゆり帯はく
帷は包紙並同

幕

○幕の周のせよ

幅は物を五
と幕とふ布十
二端と二張
十二月と乳板
廿八と廿八

帷

○帷の女ののり

ゆり帯はく
額と抹とのり
帷は包紙並同

魚袋

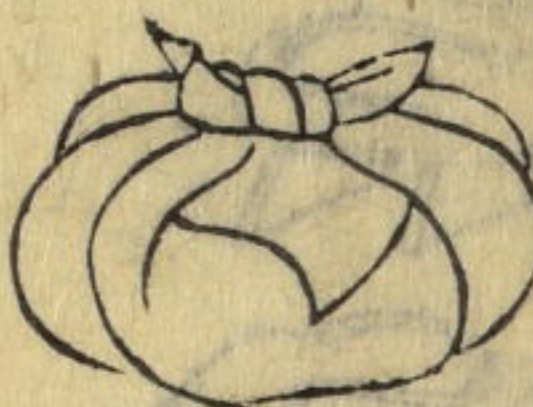
○魚袋の官人の

腰子帯はく
額と抹とのり
帷は包紙並同

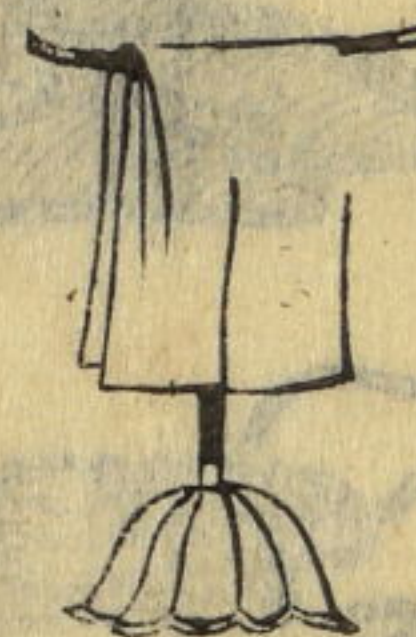
直撥

○且撥の備服
ゆり帯はく
額と抹とのり
帷は包紙並同

帕 二もつて



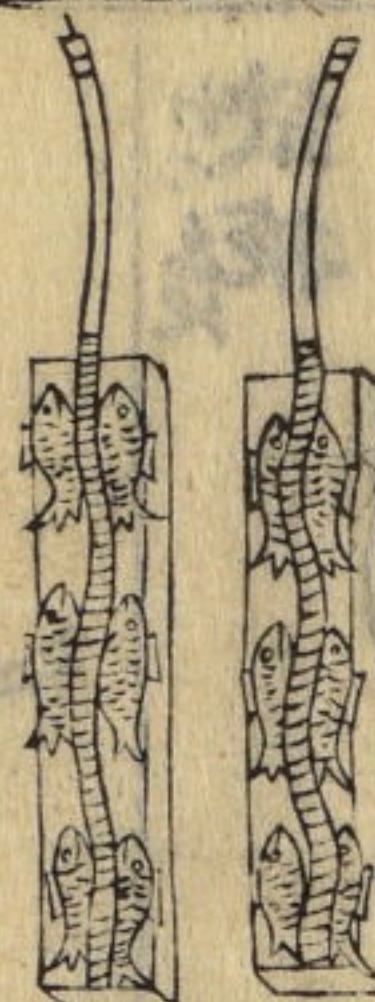
帷 二のり



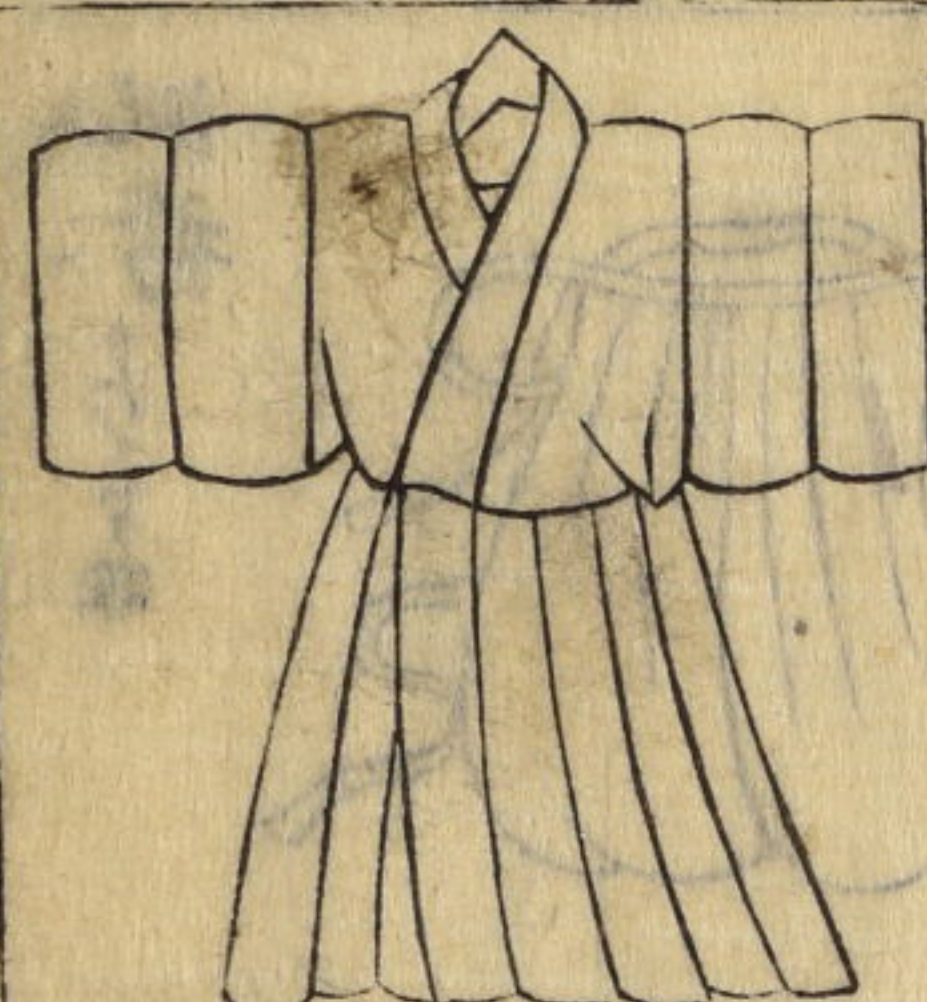
幕



魚袋



直撥



覆 草と扉

○覆の草と扉
麻と覆とのり
皮と覆とのり
とを本に

半臂

○半臂の楽人又
能の裳はく
袖のゆり帯はく
あま半臂はく
ゆり帯はく

○幔の十二幅紋

と出たに望幅はく
とに上とのり
あま半臂はく
乳付はく
とに上とのり

帷

○帷の上と下は

とくはく
官室はく
とくはく
物見はく
周のせよ

深衣

○深衣の儒者の
衣はく
布はく
も白はく
とくはく
とくはく
黒文はく

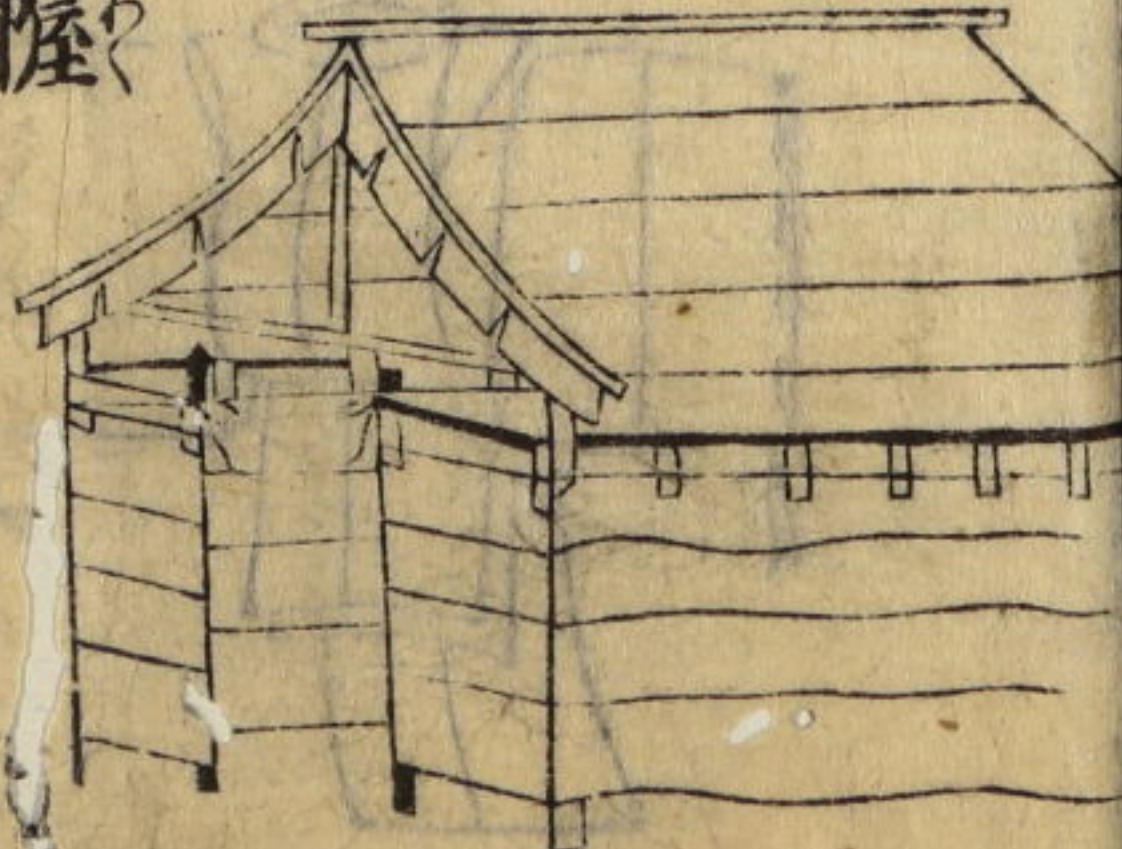
覆



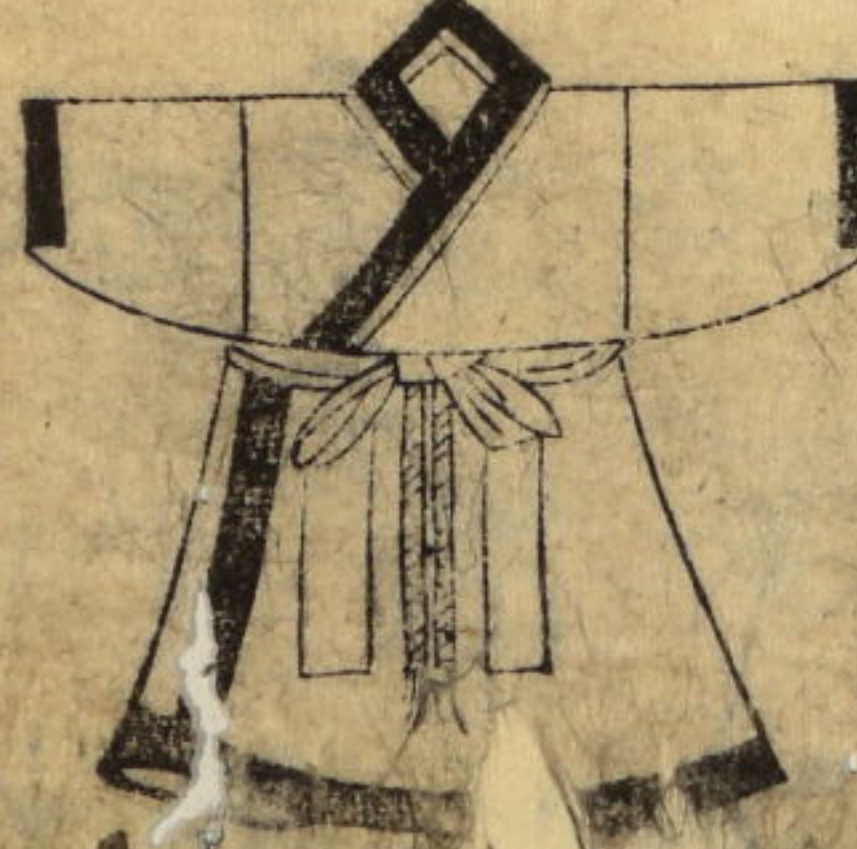
半臂



幔



深衣



銅あつね
 ○銅あつねの赤金あかきんあり
 黄銅あうどう 鑰石あうし 真鑰まんとく
 わり又紫銅あざどうあり
 白銅あくどうあり
 紫金あざきんあり
 銅あつねの類あつねのるいは

銅あつね

珠たま
 ○珠たまの海うみより出いる
 真珠まゝらのたまあり
 珍珠しんじゆ 贖珠あかたま 貝かいの
 虫むしの類るいは

珠たま

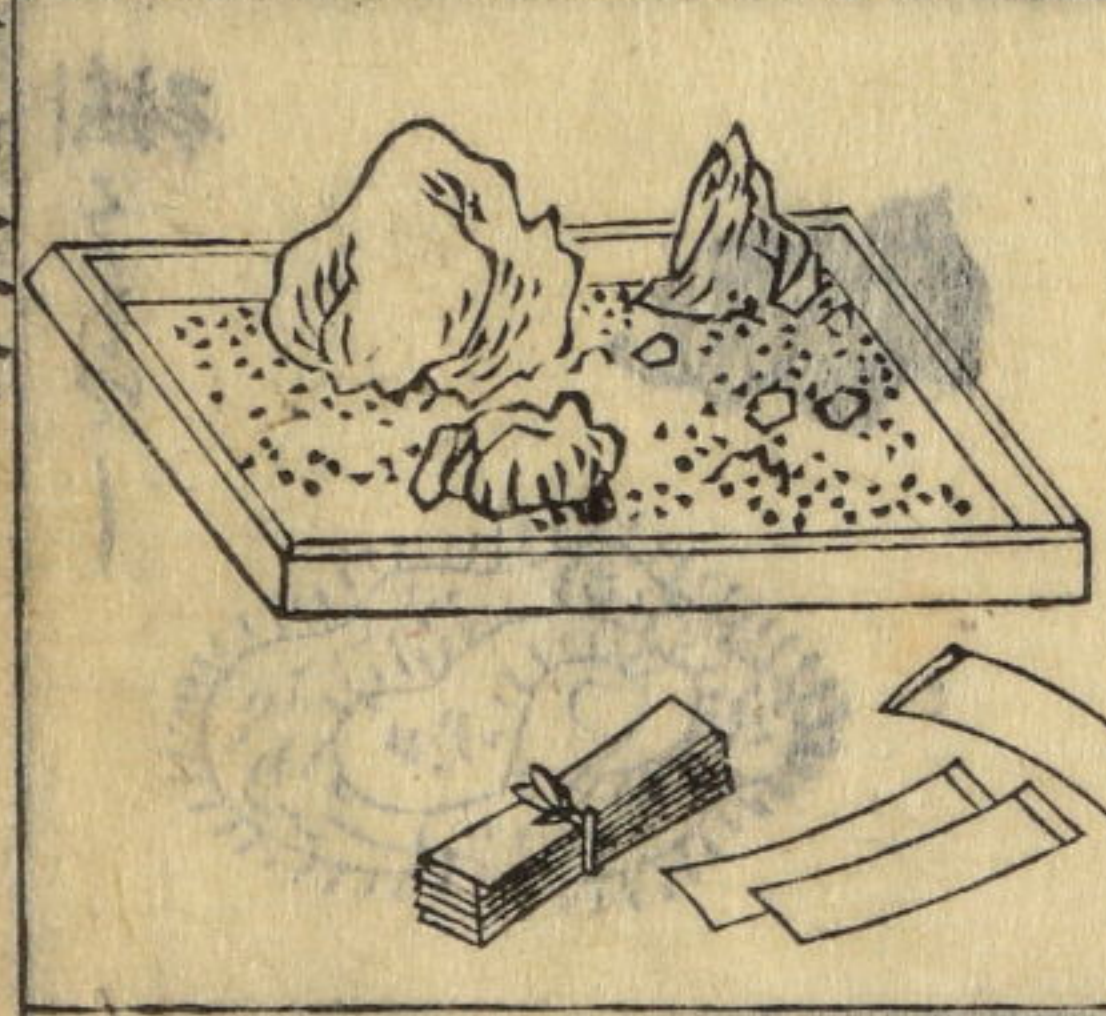
礬らん
 ○礬らんの礬らんあり
 和名わなは
 光明くわうめいあり
 黒礬くろらんあり
 緑礬りよくらんあり
 乃すなはと綠礬りよくらんあり
 硫いりの石いし 硫いり黄土わうど 硫いり
 黄わうあり
 燭しやくあり
 温湯おんたうあり
 山やまあり
 加刺かその山やまあり

硫いり

礬らん

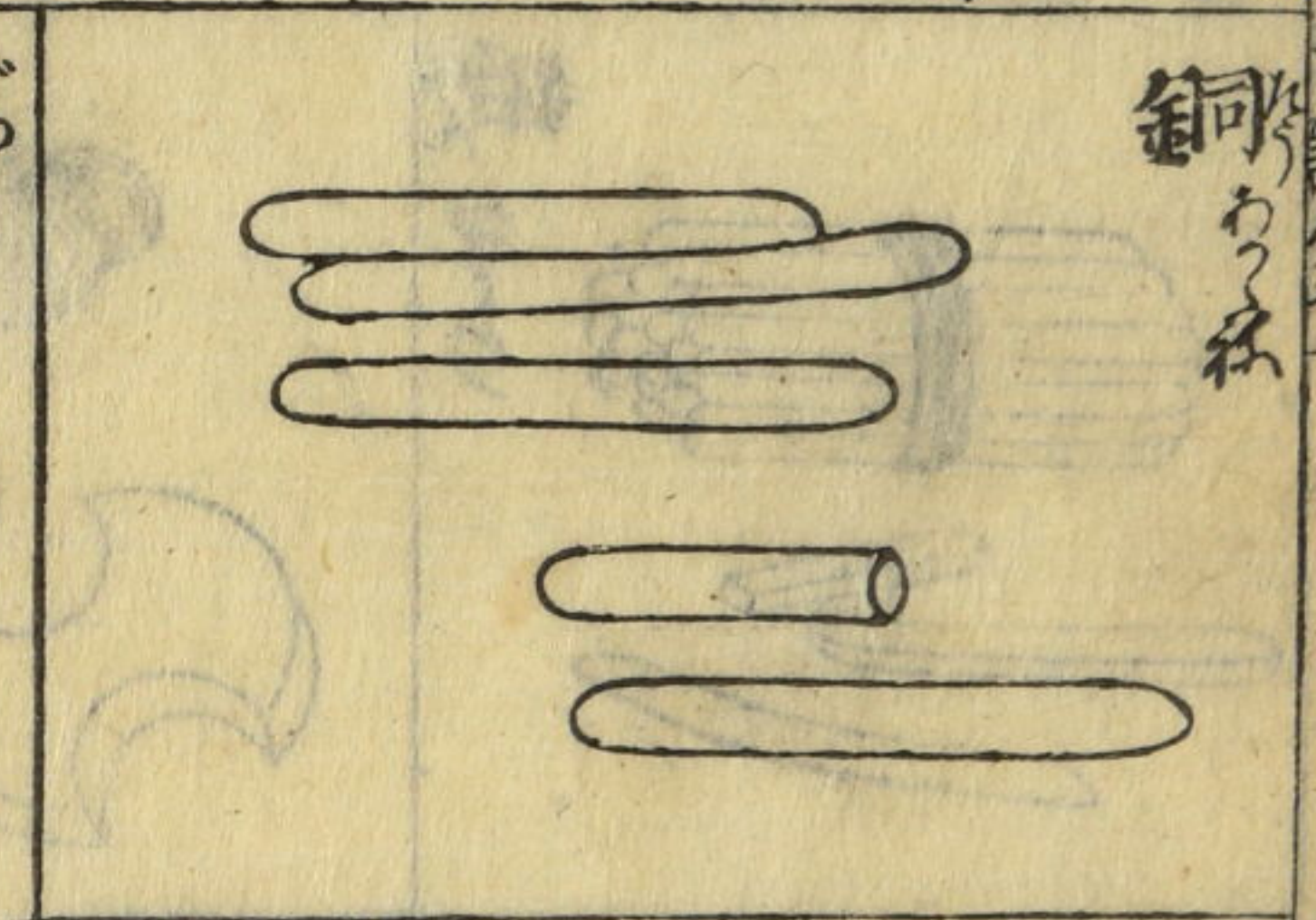
珠たま

銅あつね



硫いりの石いし

燭しやく



硃しゆ
 ○硃しゆの粘ねりあり
 辰砂てんさあり
 銀ぎんと化くわして朱しゆと
 朱しゆの服ふくあり
 硝しょうの神かみあり
 硝しょう石いしあり
 硝しょう火かあり
 硝しょう牙があり
 硝しょう土どあり
 硝しょうの類るいは

硃しゆ

硝しょう

玉たま

錢せん



硝しょう



硃しゆ



玉たま



錢せん

磁石の陽子
鐵と産する所の
陰より多し磁石
わり二物は磁石
と引あひり針
と引あひり

瑪瑙

瑪瑙の玉あり
七寶の心この
玉の久馬の腦
はよりて馬
齒とくく久馬
かり

磁石



瑪瑙



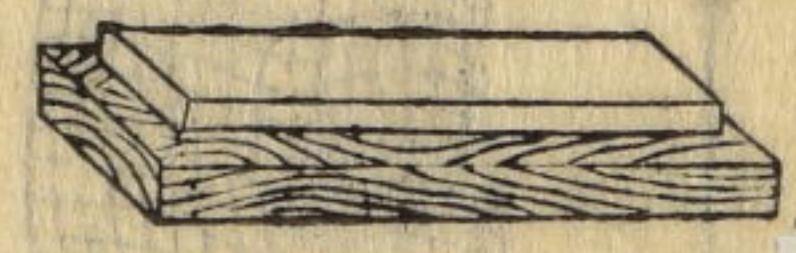
玳瑁

玳瑁の亀の名
甲の文わらぬ
つくまへし櫛簪
香合などつら



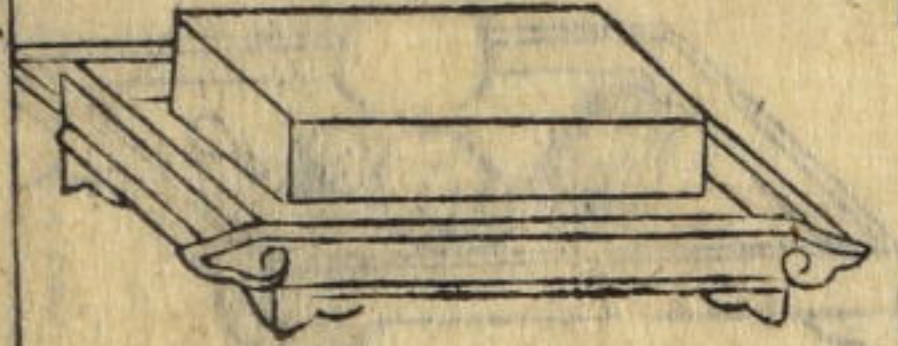
砥

砥の細砥石
研くとすべし
黄砥ありせと



礪

礪の鹿野石
あとの礪とも
すべし



砒石

砒石の石あり
大毒わり煉ら
このと砒霜と
臘物のとを消
瘡をとり外
科のりらり
班猫とあやく
毒わり

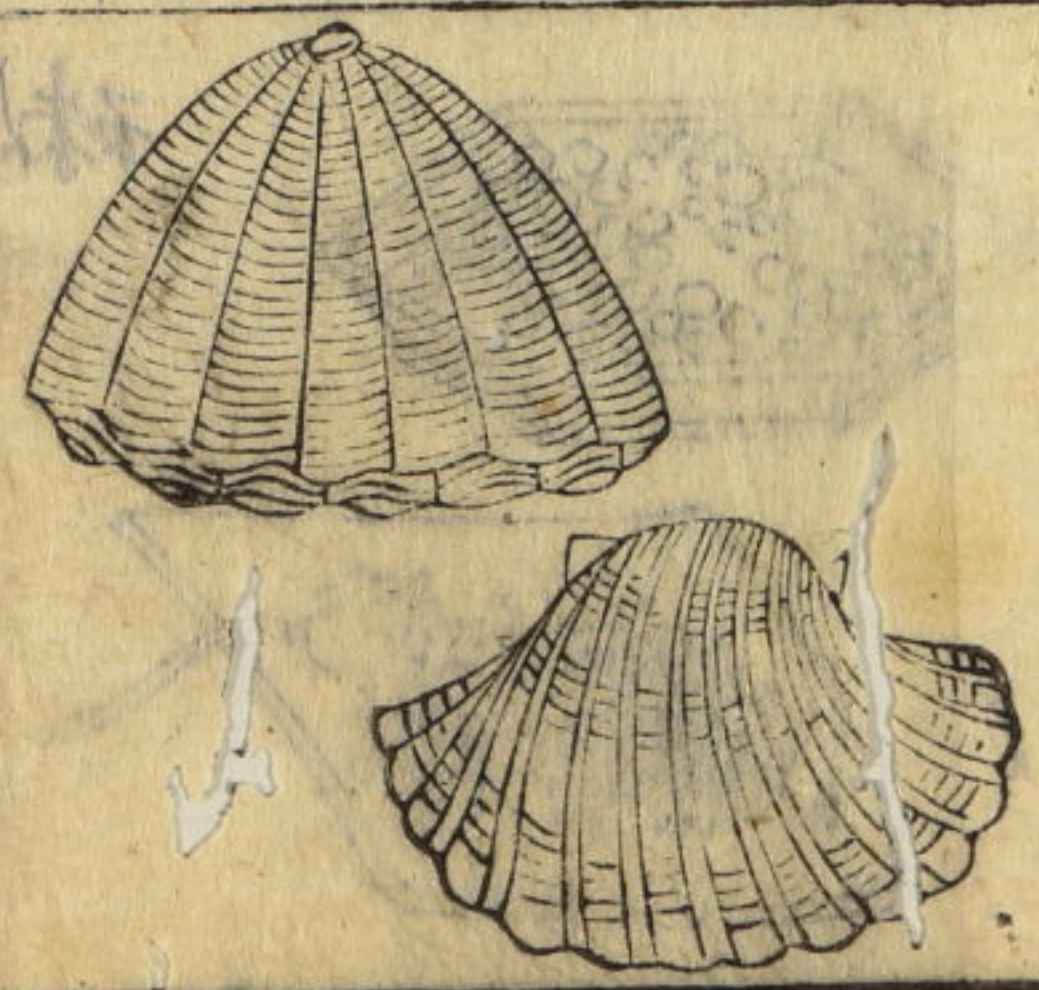
砒礪

砒礪の玉の名
七寶の一のあり
石の玉はけら
一名海扇和名
とら

砒石



砒礪



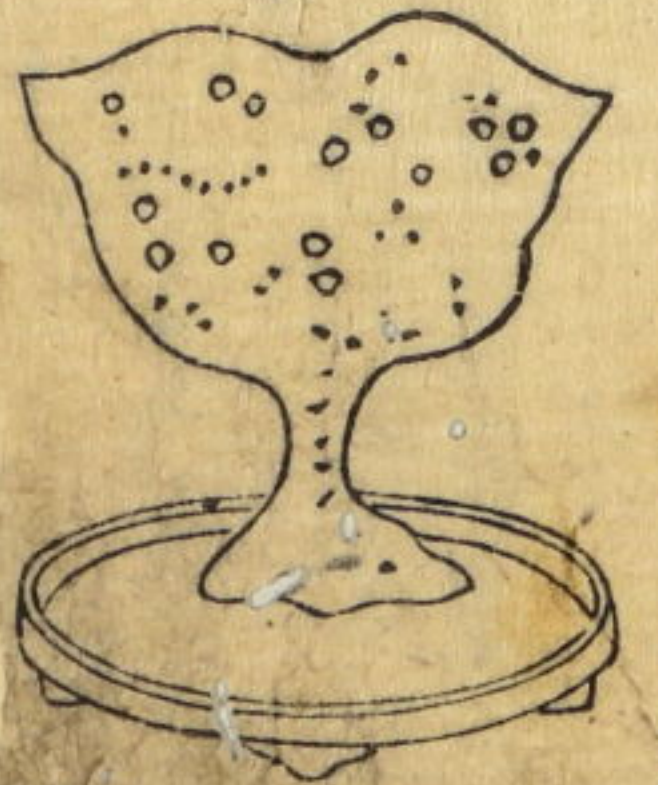
瑠璃

瑠璃の玉の名
石のくわらる
ののり七寶の
りあり久馬と



玻黎

玻黎の玉の名
七寶の一のあり
西名の玉あり
黎とくまへし

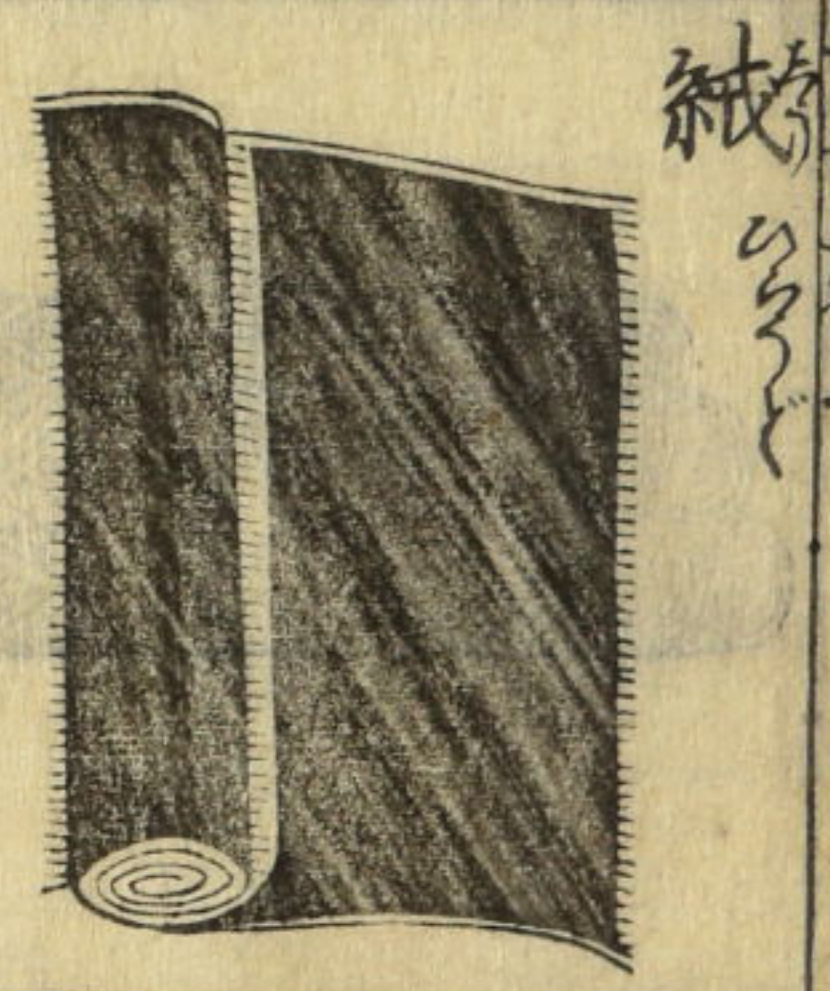


珊瑚

珊瑚の海中の
珠のありあり
鐵網とらるこ
ととら七寶の
りあり



○絨の細毛布
ありその義あり
毛は上天啓絨
の裾子普羅
瑤羅綿子毛
布あり



○絨の粗毛布
花は綿子あり
邊金股あり
八丈物



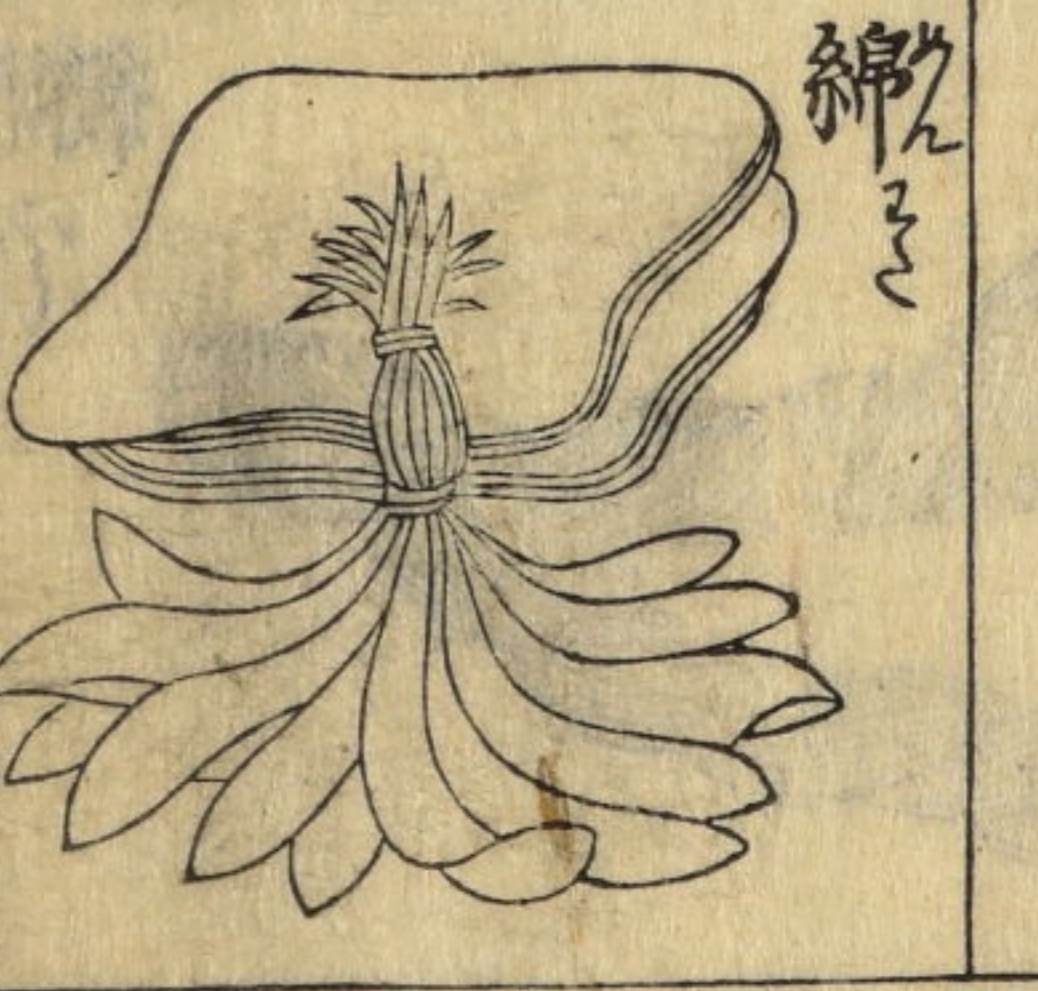
○八丈物の晒靴
八丈物の晒靴
いそむる者あり
八丈物の晒靴
あせあり



○皮ハ多物の
皮子毛あり
乃名あり虎皮
豹皮熊皮狐皮
麂皮あり



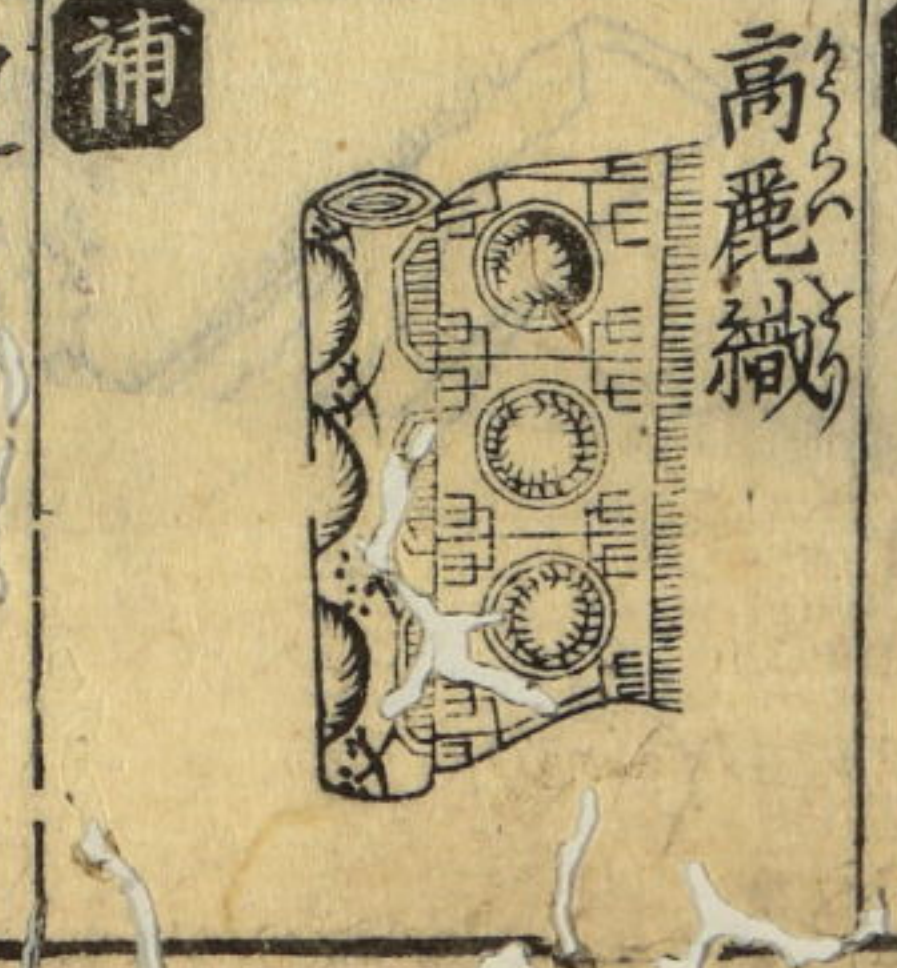
○綿ハ蘇子あり
くらくら精を綿
とふ鹿と紫と
ハ綿ハ白と紫
ハ本とあり



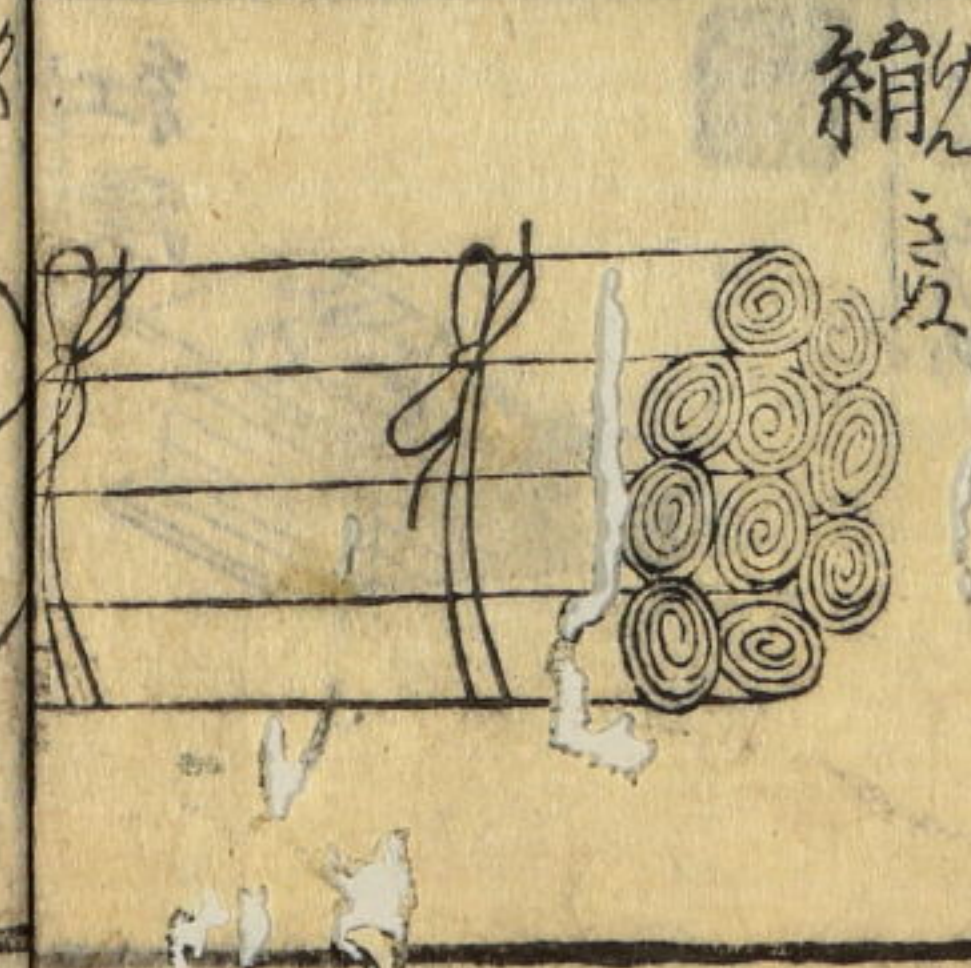
○縹珍ハ五色あり
縹珍ハ五色あり
縹珍ハ五色あり



○高麗織ハ京
西陣ありあり
高麗織



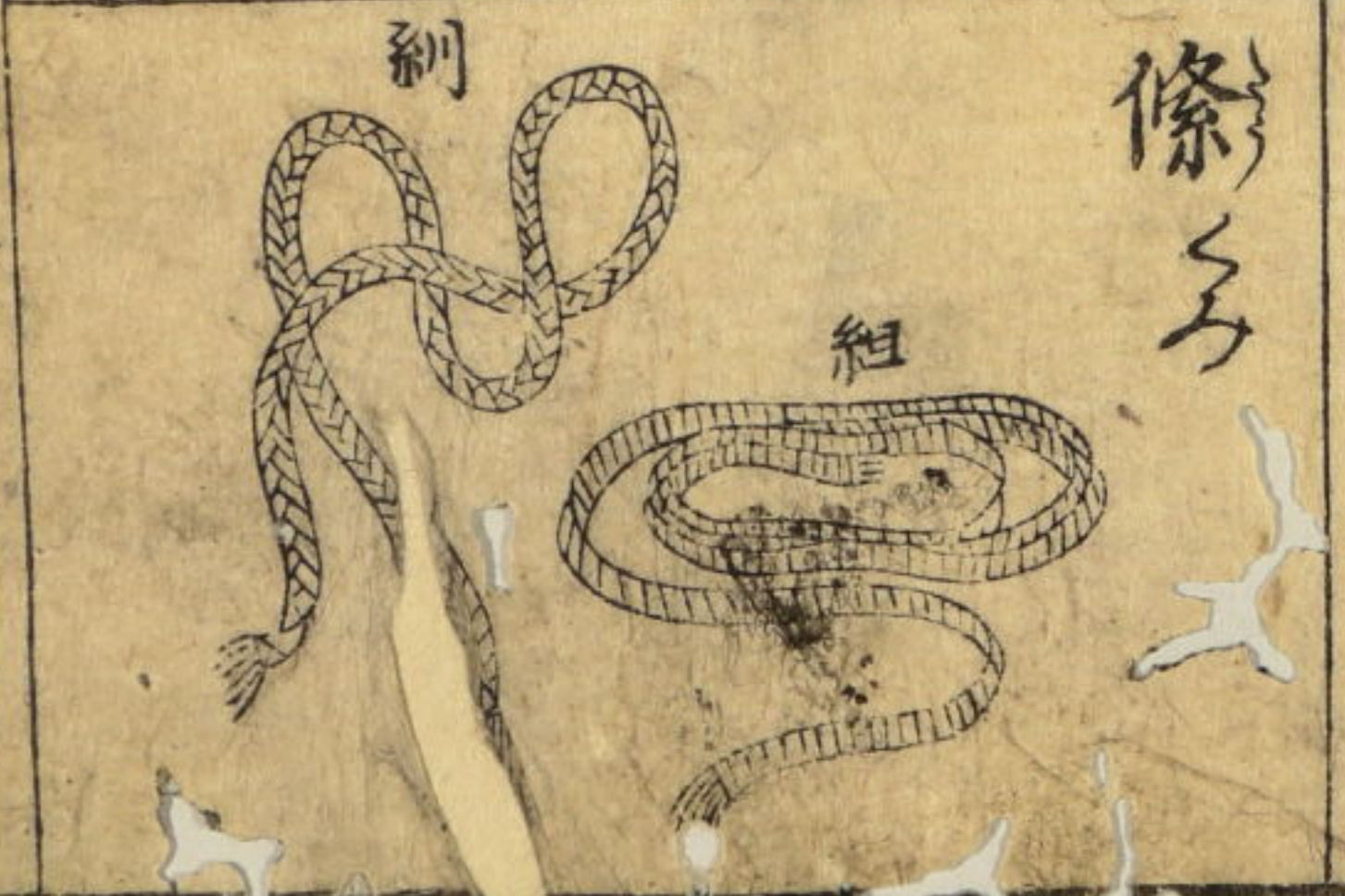
○縹ハ加刺あり
縹ハ加刺あり
縹ハ加刺あり



○革ハ多物の
皮ハ毛とらと革
熟とらと革と云
あり



○條ハ組と組と
圓と組と組と
條ハ組と組と



首問家七

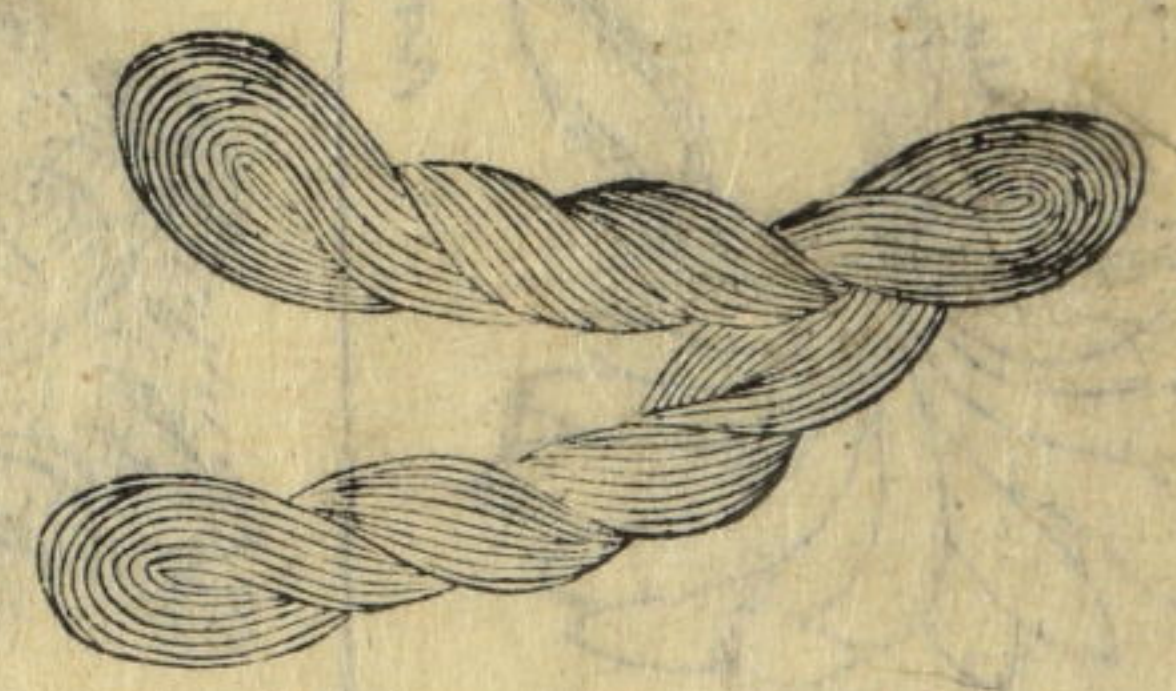
絲 蘇のらるる
 緒 いとら 類い
 経 縷い
 麻 苧 絲 糸
 縷 うこそ

金薄 金を
 〇 金薄 金を
 〇 銀銅の類同
 箔同

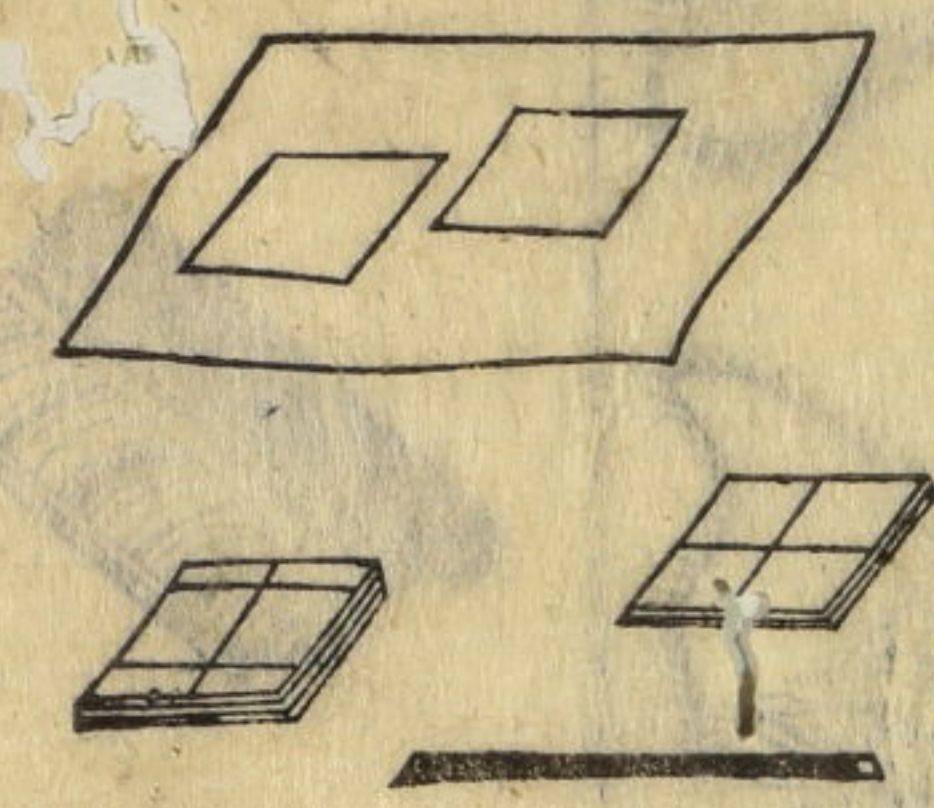
水銀 水銀
 〇 水銀 性寒
 毒 あり 馬 齒 草
 〇 水銀 あり
 〇 水銀 あり
 〇 水銀 あり

水精 水精
 〇 水精 水精
 〇 水精 水精
 〇 硝子 硝子
 〇 硝子 硝子

絲



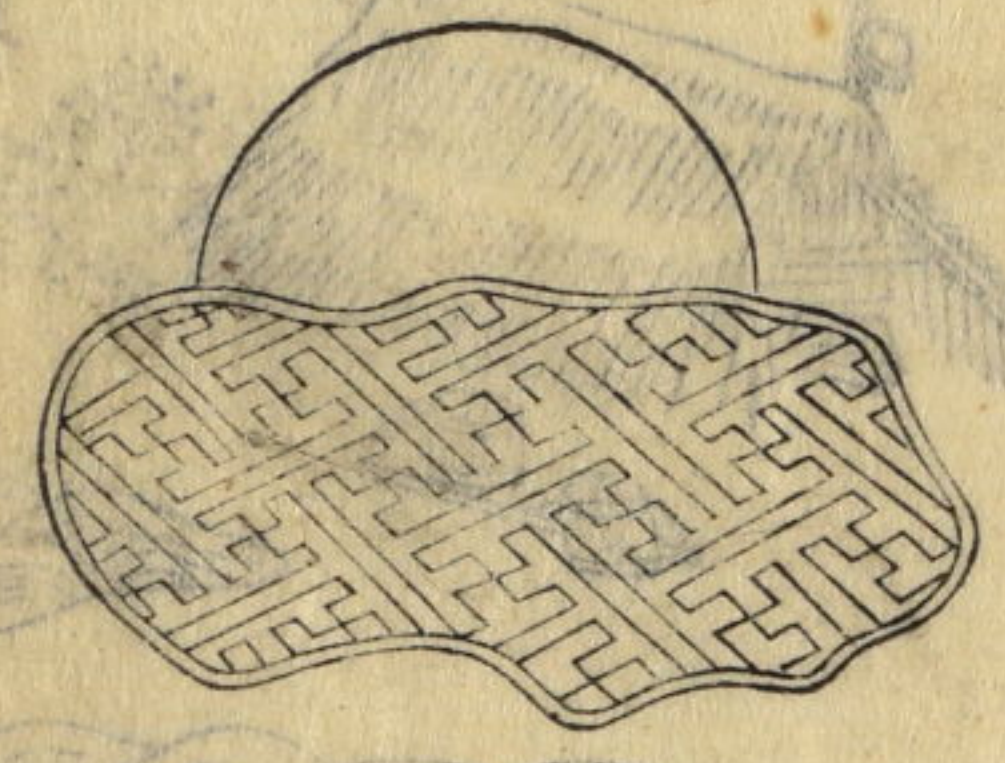
金薄



水銀



水精



線

〇 線 糸
 〇 線 糸
 漢 文 冬 至
 日 一 線 の 糸

鐵線

〇 鐵線 糸
 〇 鐵線 糸
 〇 鐵線 糸

雲母

〇 雲母 盧山の中
 〇 雲母 五色あり
 〇 雲母 十年を
 〇 雲母 糸 糸

火精

〇 火精 糸
 〇 火精 糸
 〇 火精 糸

線



鐵線



雲母



火精



海鹽 うみしほ 塩 しほ
 海監 うみけん 食監 しょくけん
 海中の潮とらん
 で空龜よれと塩
 と骨子入る
 歯とくくくは肉
 りりる肉塩塩
 りりる塩盤
 あやう酒

緑青 りょくせい
 緑青の石練た
 りの銅のふいりの
 銅緑とてい水
 死して盡工采
 の具とて

石灰 せっかい いし
 石灰の火あき
 石を煎たて灰と
 多て毒あり一切
 の腫物とれを又
 白聖にして壁と
 める

温石 ぬるいし
 温石一名烏滑
 石といふ和漢と
 とにわら統養の
 あり山とらいつ
 石まはれあり
 火子わこめて
 質とたけり
 痛疾とてい
 泉血と散て



海鹽

緑青

石灰

温石

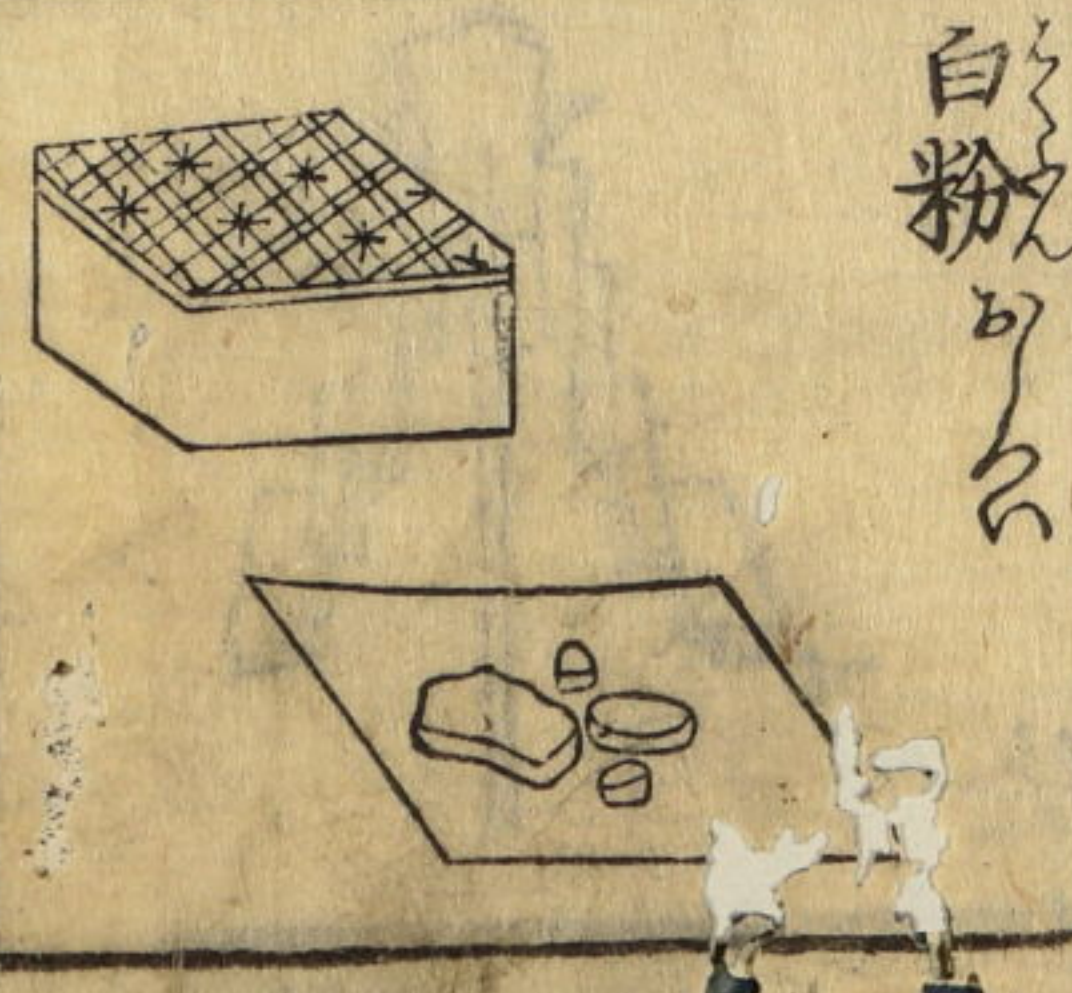
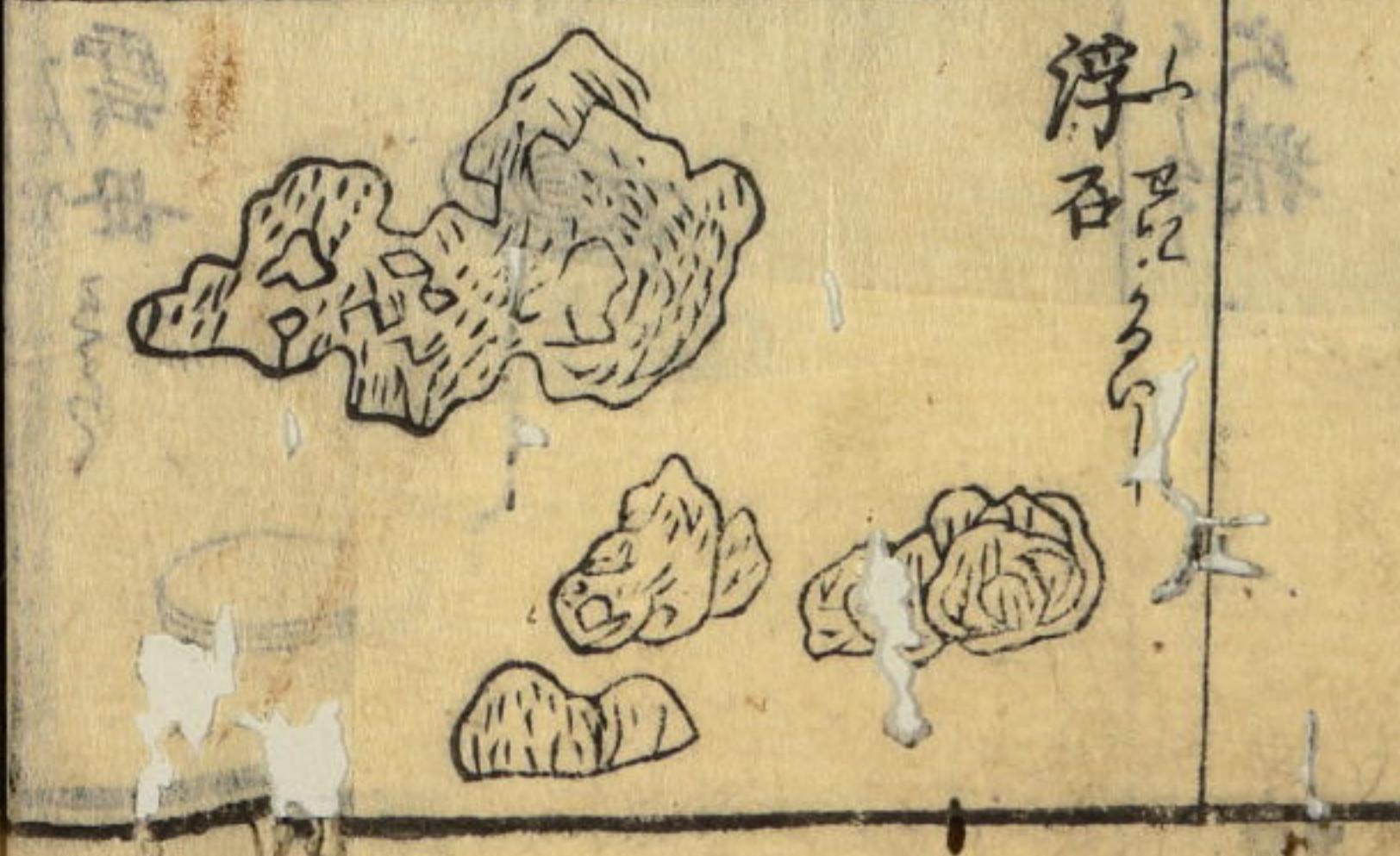
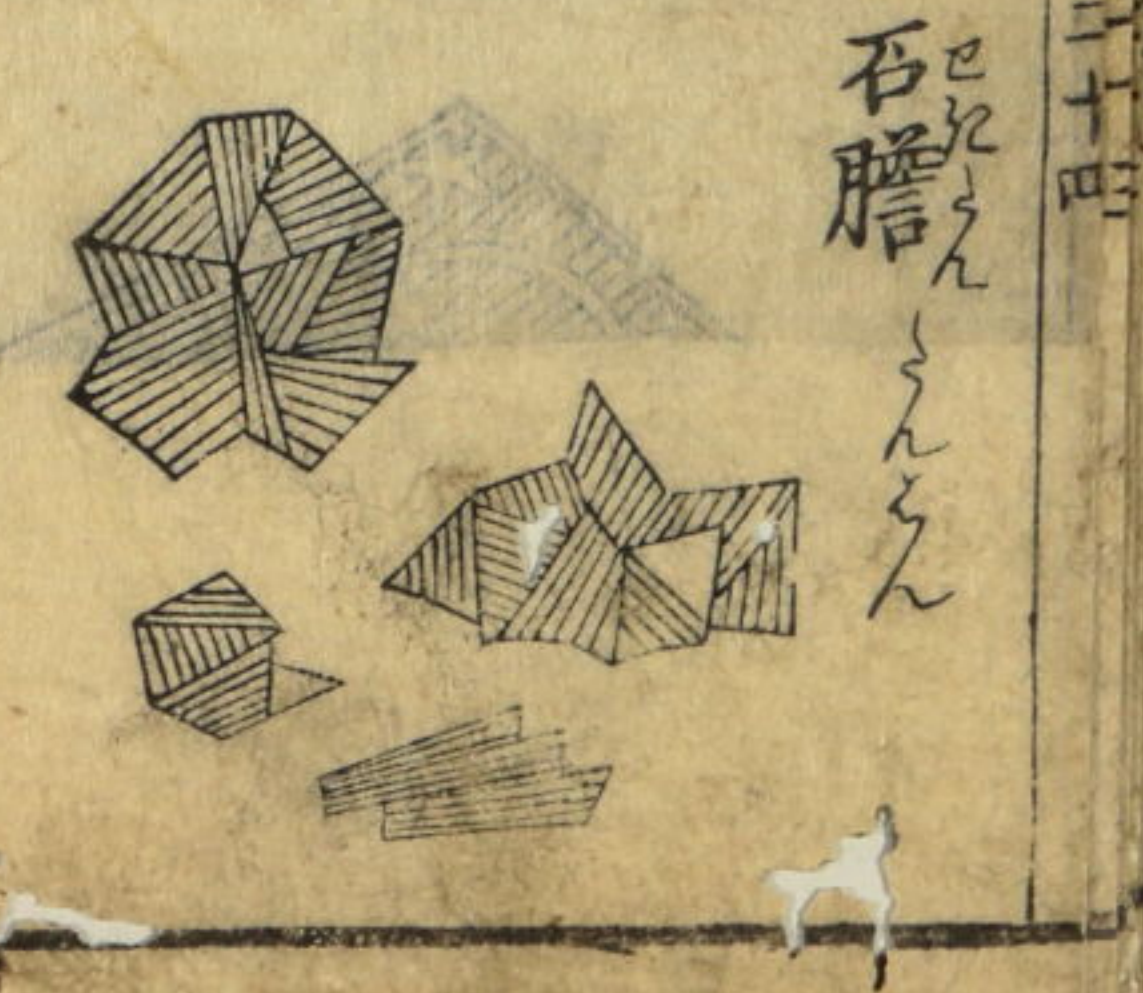
補

石膽 いしたん えん
 石膽へ銅わら
 り出煎し採て
 あり石中の汁
 膽礬あり

浮石 うきいし
 浮石の水花
 り水泡化して
 浮石とあり西
 といふ

白粉 しろこな 鉛粉 えんこな
 鉛とまてつ
 鉛のつらと
 銀粉のろろ粉霜
 のをさる白粉
 の蕭史とふ人
 せんしめて春
 のひそめ弄玉
 めいひと

滑石 なめし
 滑石のかたをせ
 われおんとう
 油のとち
 あとらに滑石
 とつらられ油
 けらる白色
 とら



石膽

浮石

白粉

滑石

補

